

第4週目の復習



チェックシートに慣れよう！

心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

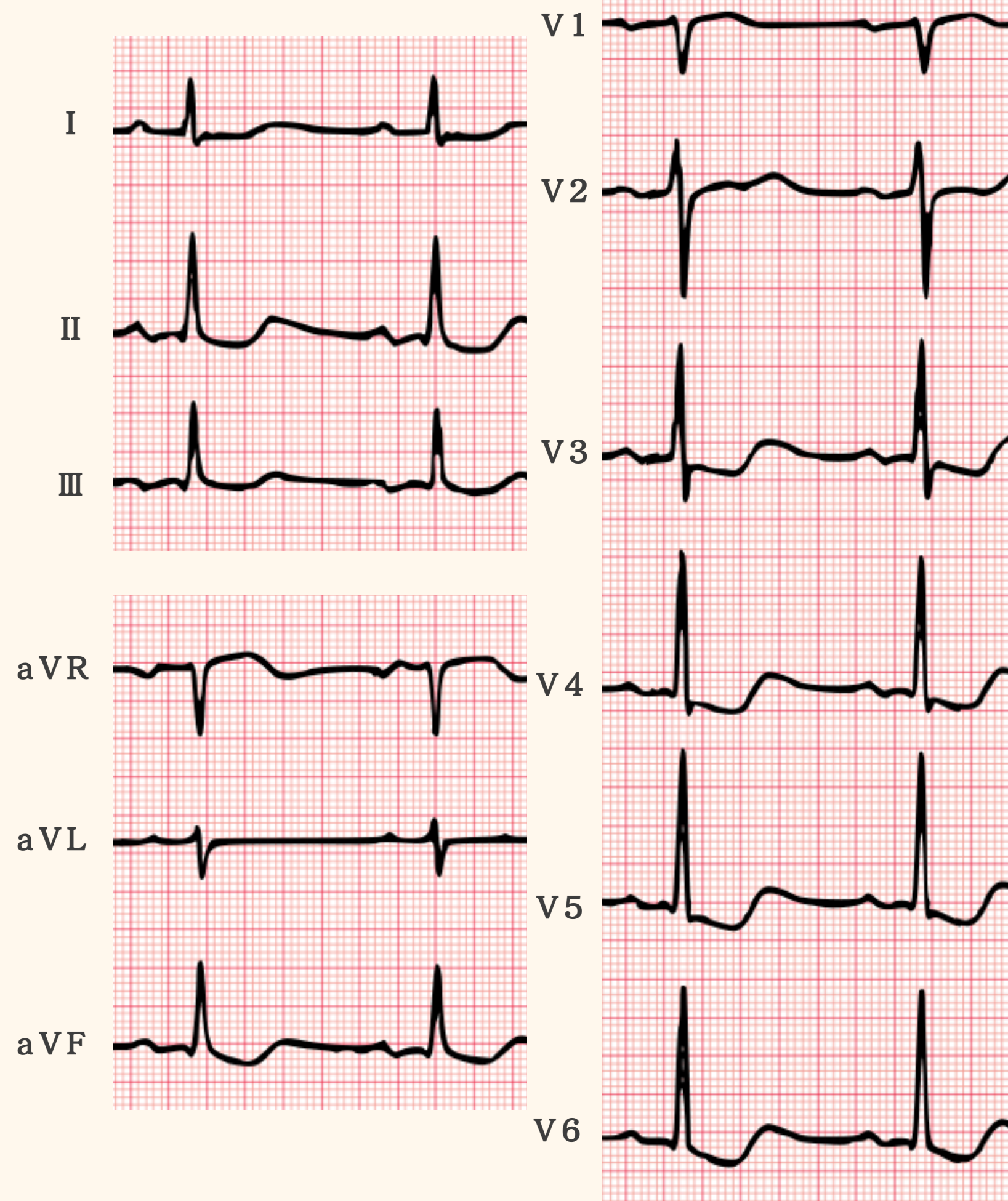
8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

慢性心不全のため外来通院中の70歳代男性



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

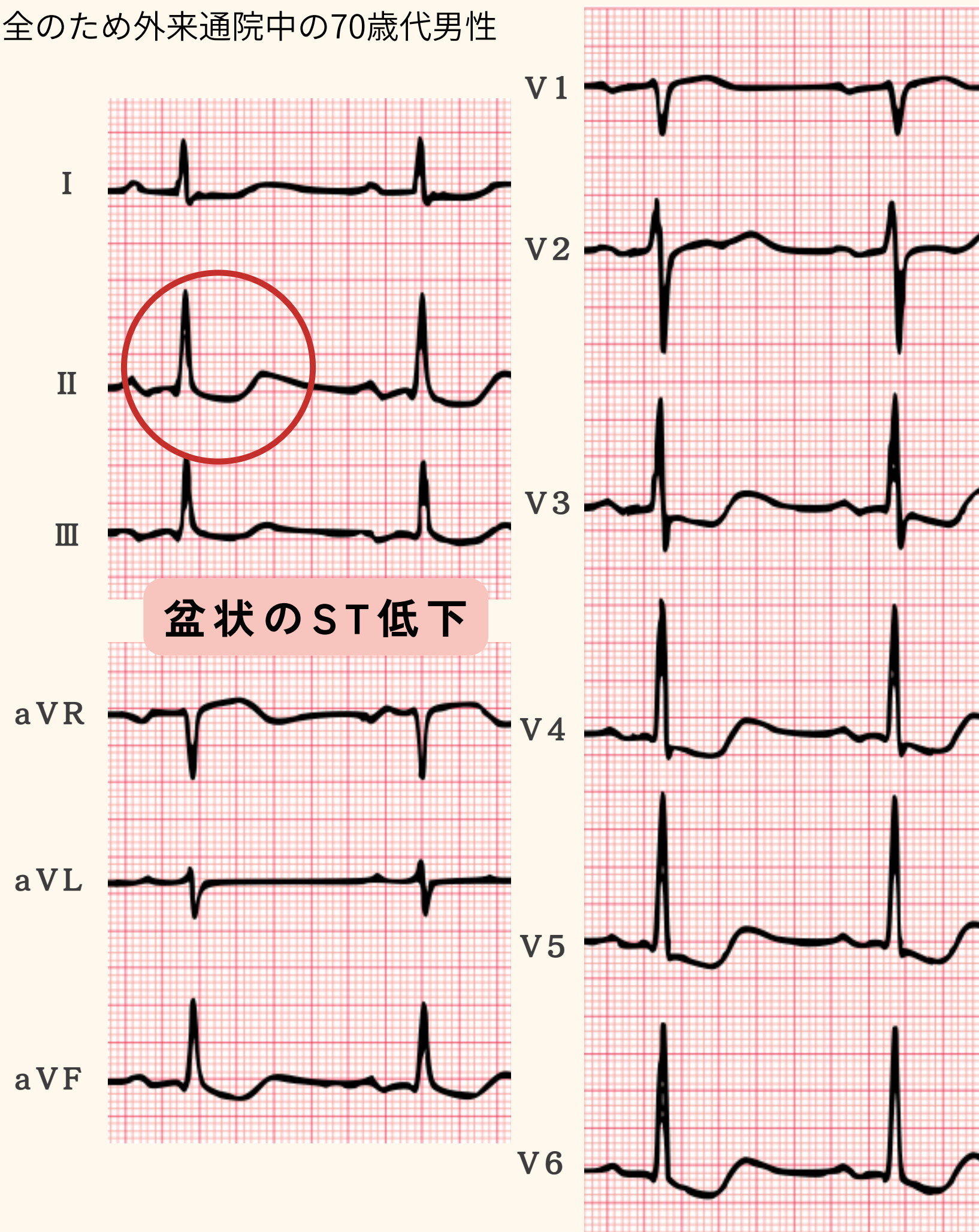
8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

慢性心不全のため外来通院中の70歳代男性



心電図チェックシート

慢性心不全のため外来通院中の70歳代男性

1. リズムと心拍数の確認

5. QRS波の評価

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

ジギタリス効果

- II誘導
- II誘導
- V1誘導
- V1誘導
- 横幅と深さ

- T波の終わりが、R波の基準線を超えていない

3. PQ間隔の確認

8. 軸の判定

- PQ間隔が3~5マス以内

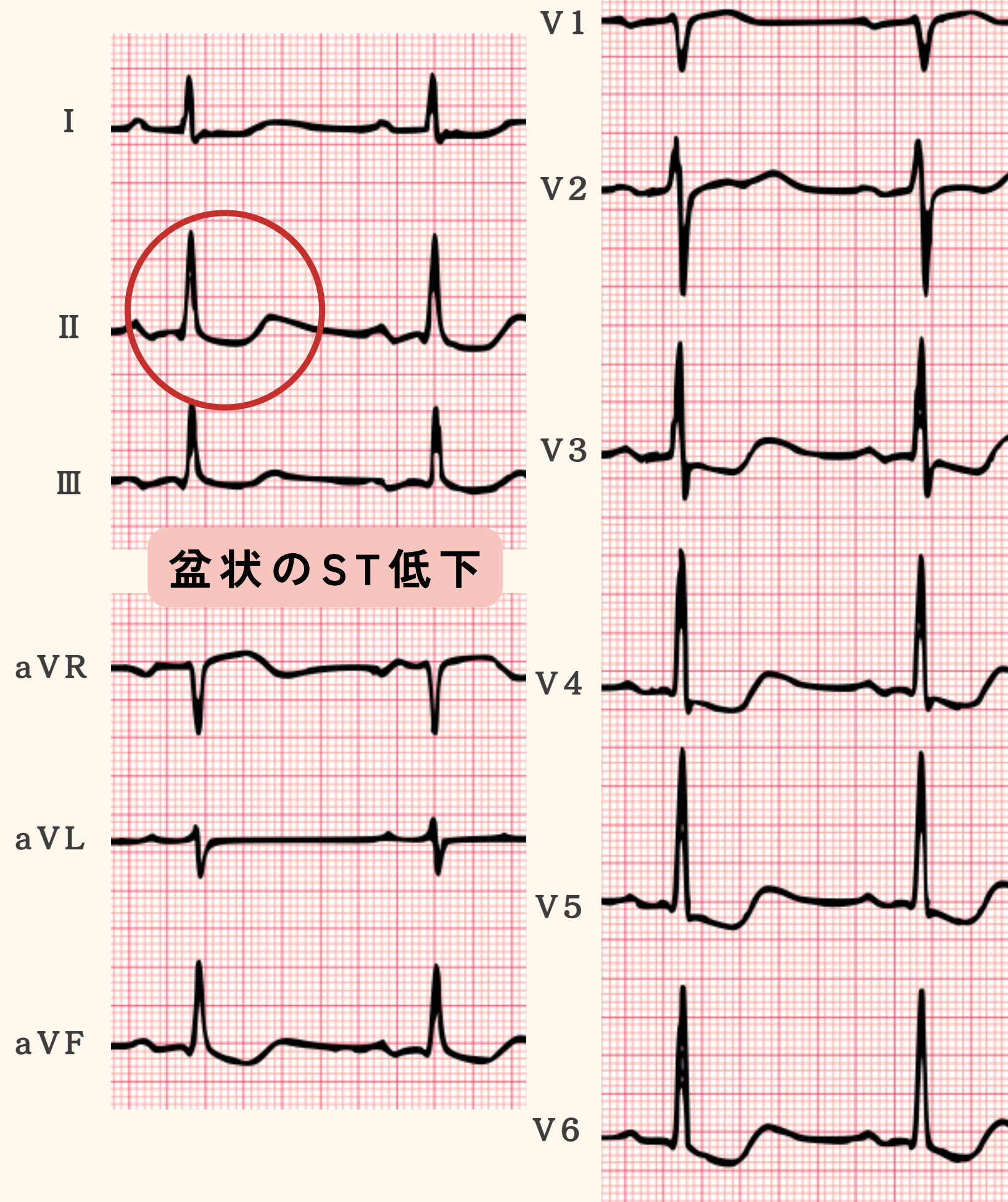
- I誘導、aVF誘導がともに上向き

4. 異常Q波の確認

9. 移行帯の判定

- 幅1mm以上
- 深さがR波の高さの1/4以上ない

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

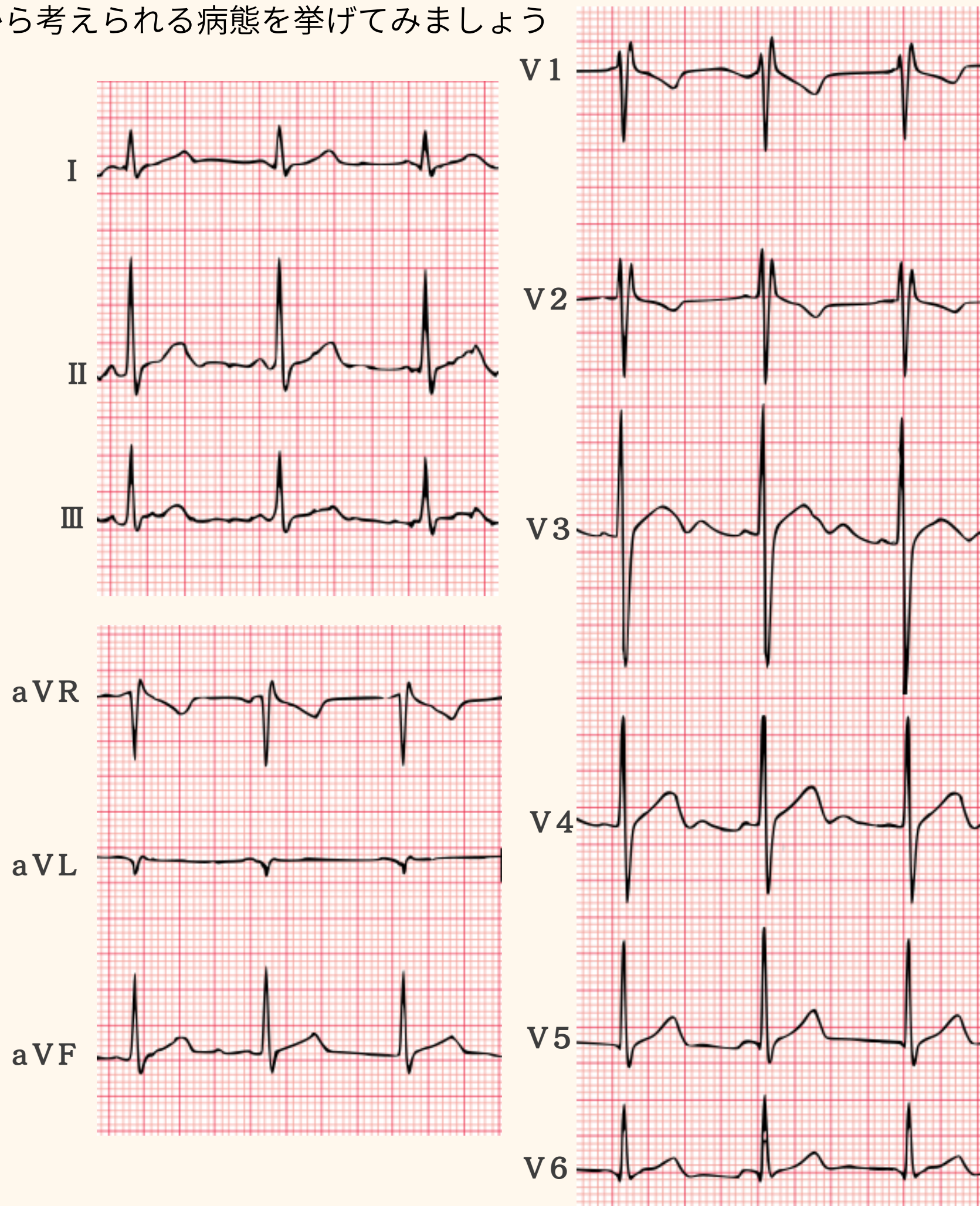
8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

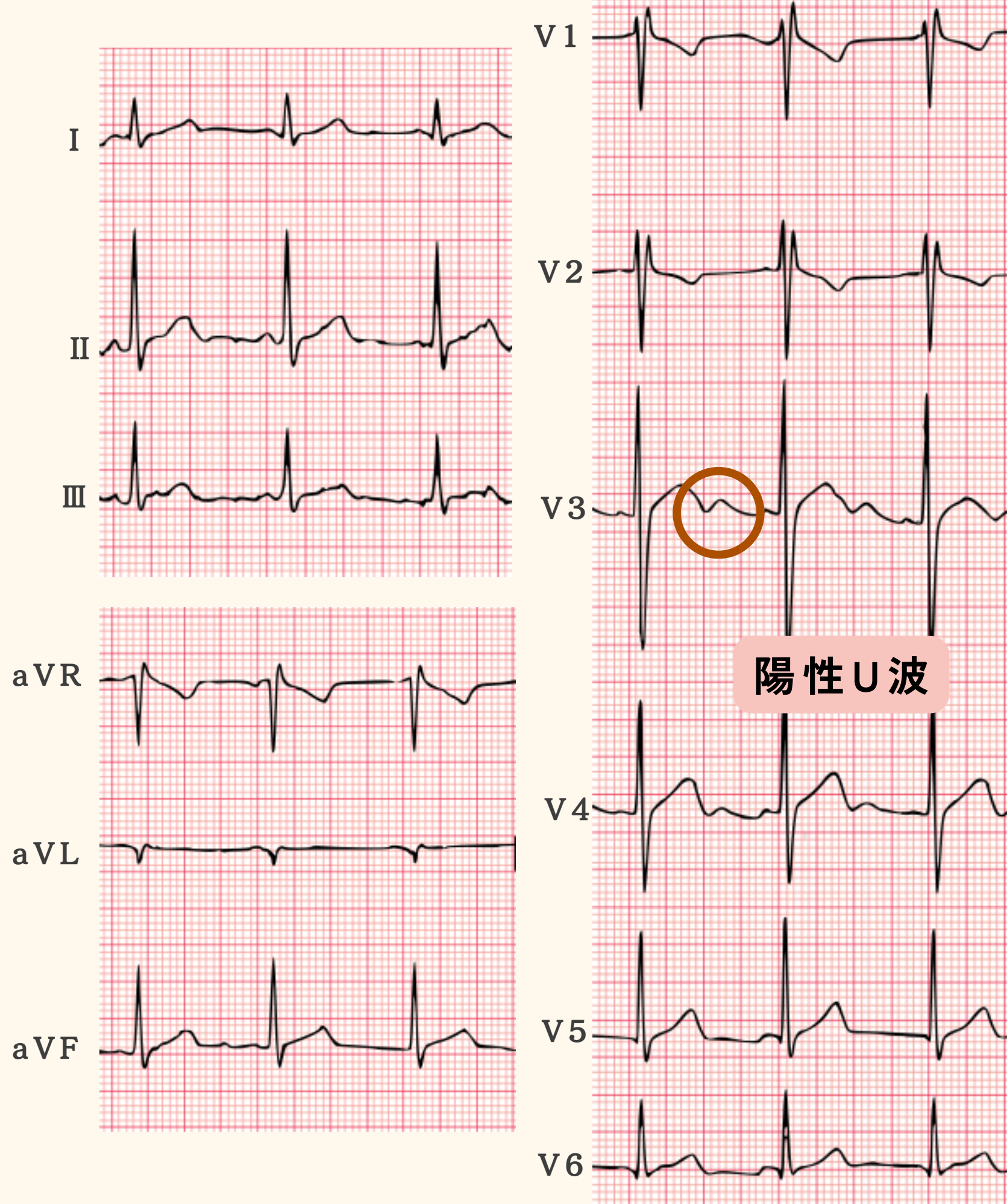
8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



心電図チェックシート

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

陽性U波

考えられる疾患

正常
後壁の虚血
低カリウム血症

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

8. 軸の判定

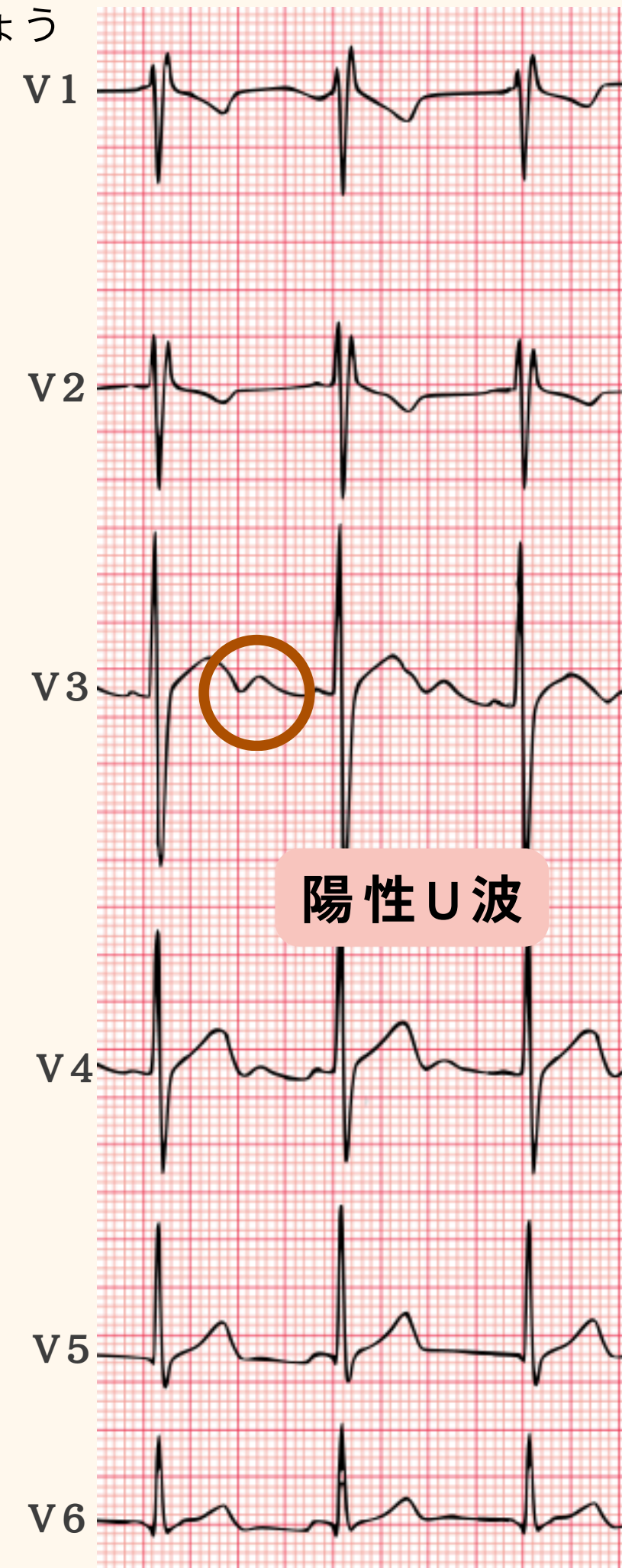
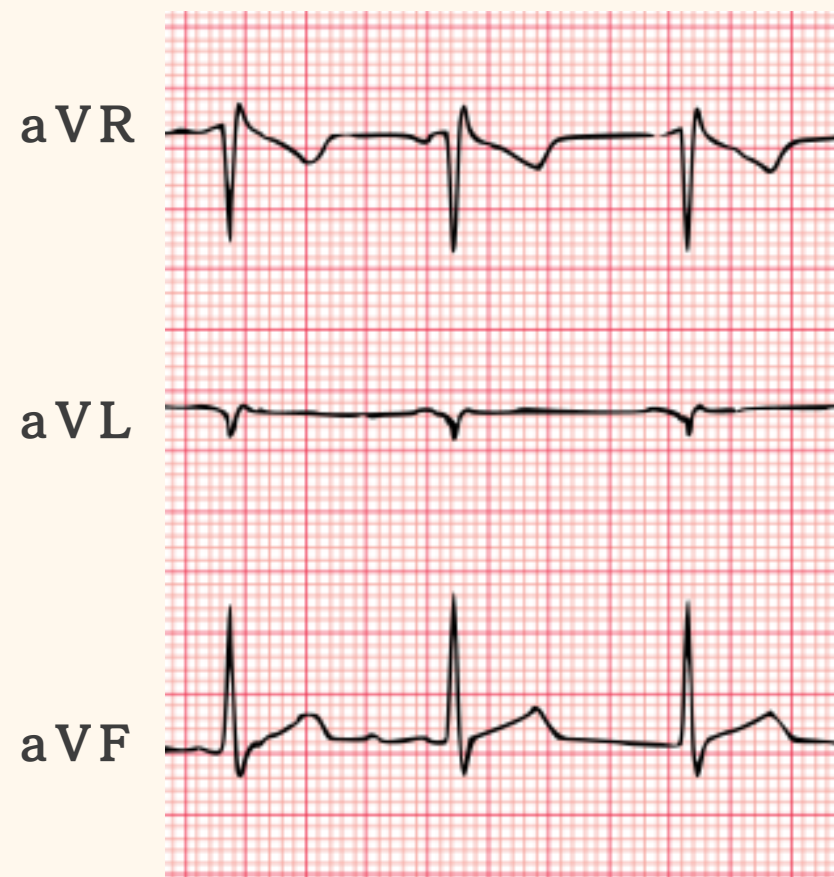
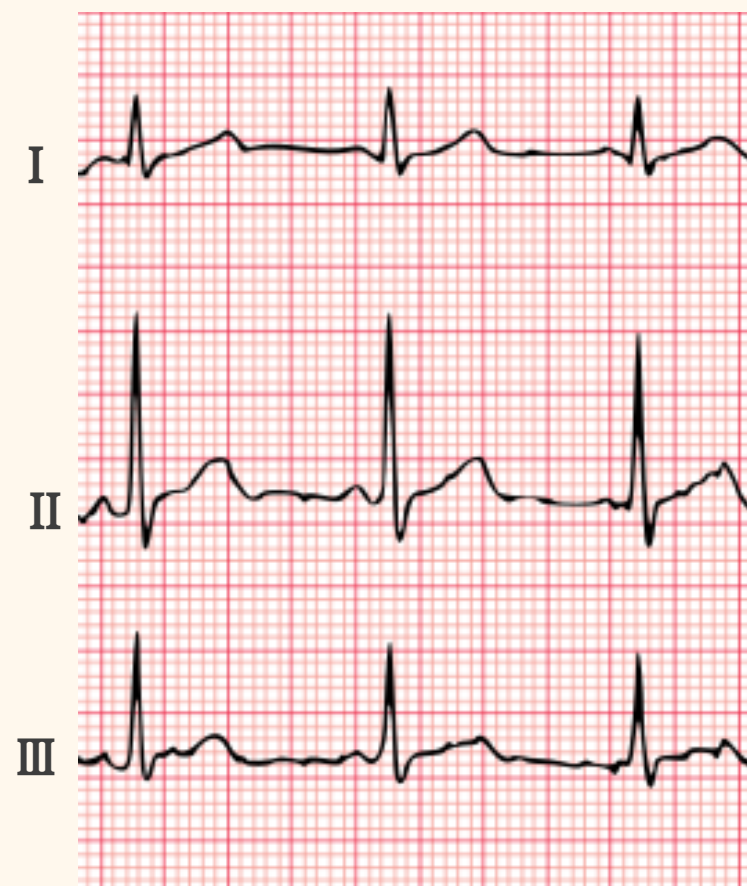
- I誘導、aVF誘導がともに上向き

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である



陽性U波

心電図チェックシート

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

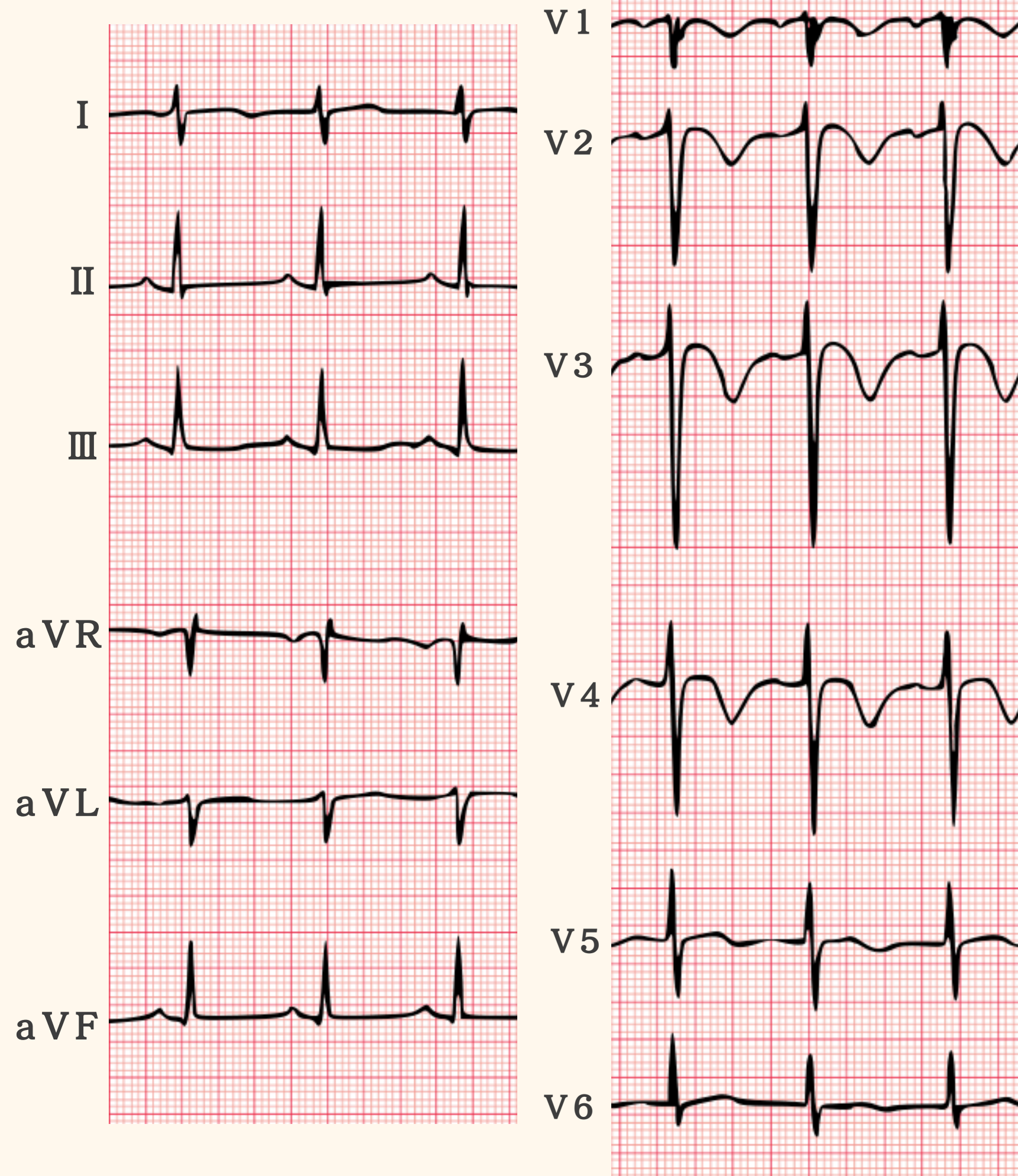
- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である



心電図チェックシート

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

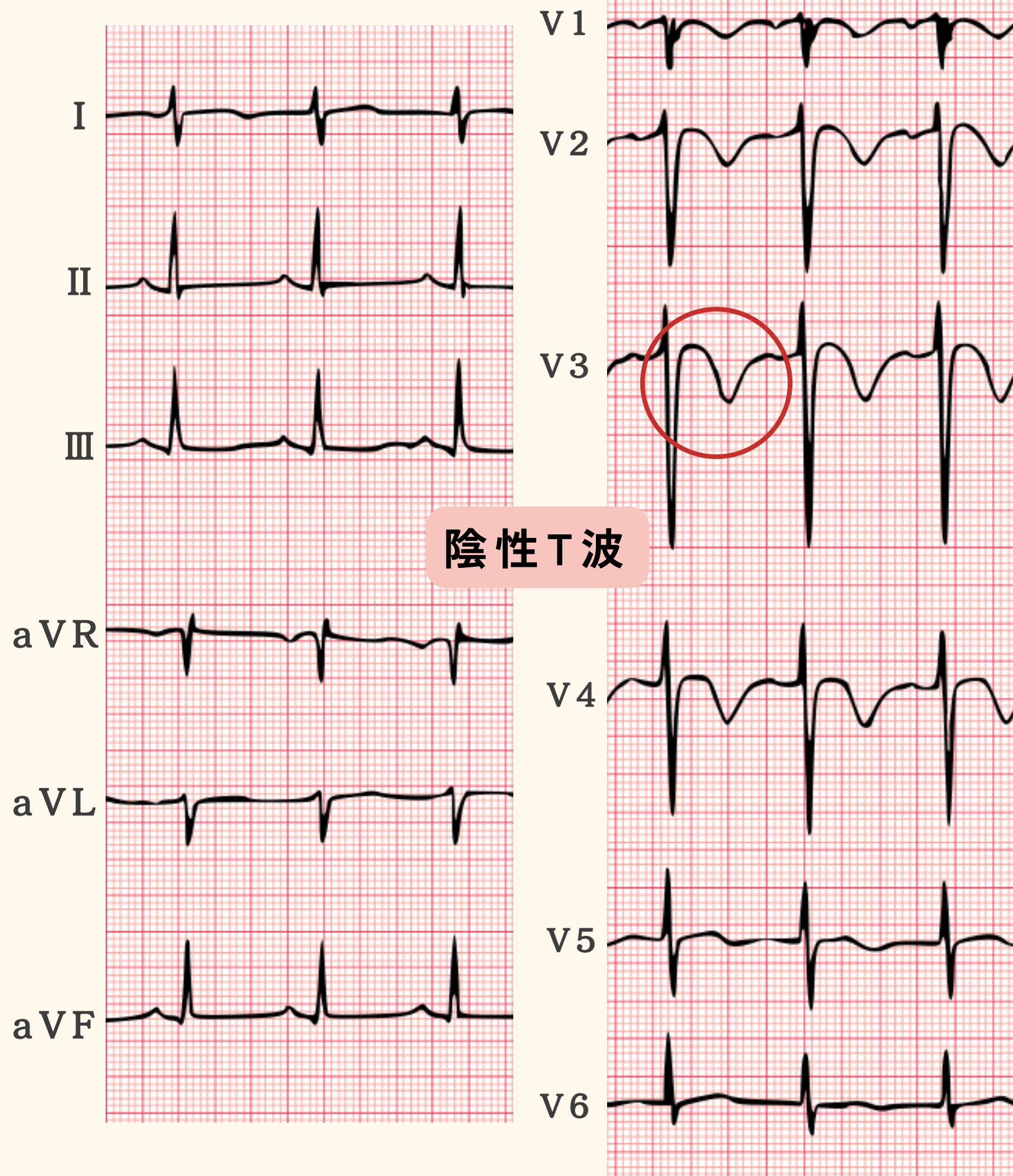
- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である



心電図チェックシート

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導、II誘導のP波は上向き

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

陰性T波

考えられる病態

- 例 正常小児
- 急性冠症候群
- 肺塞栓症
- たこつぼ心筋症

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

8. 軸の判定

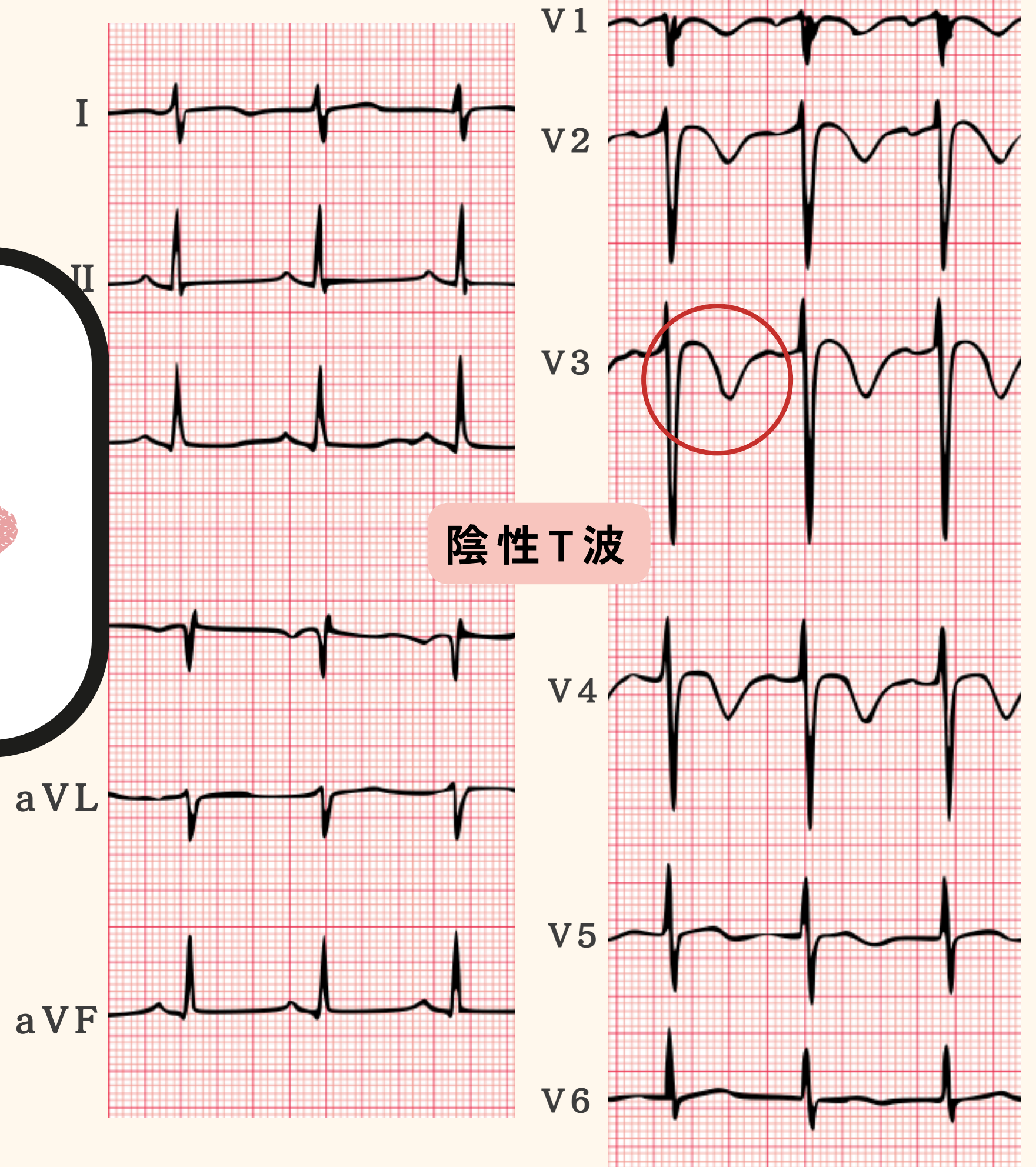
- I誘導、aVF誘導がともに上向き

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
- 深さがR波の高さの1/4以上ない

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である



心電図チェックシート

60歳男性。胸痛を主訴に来院

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

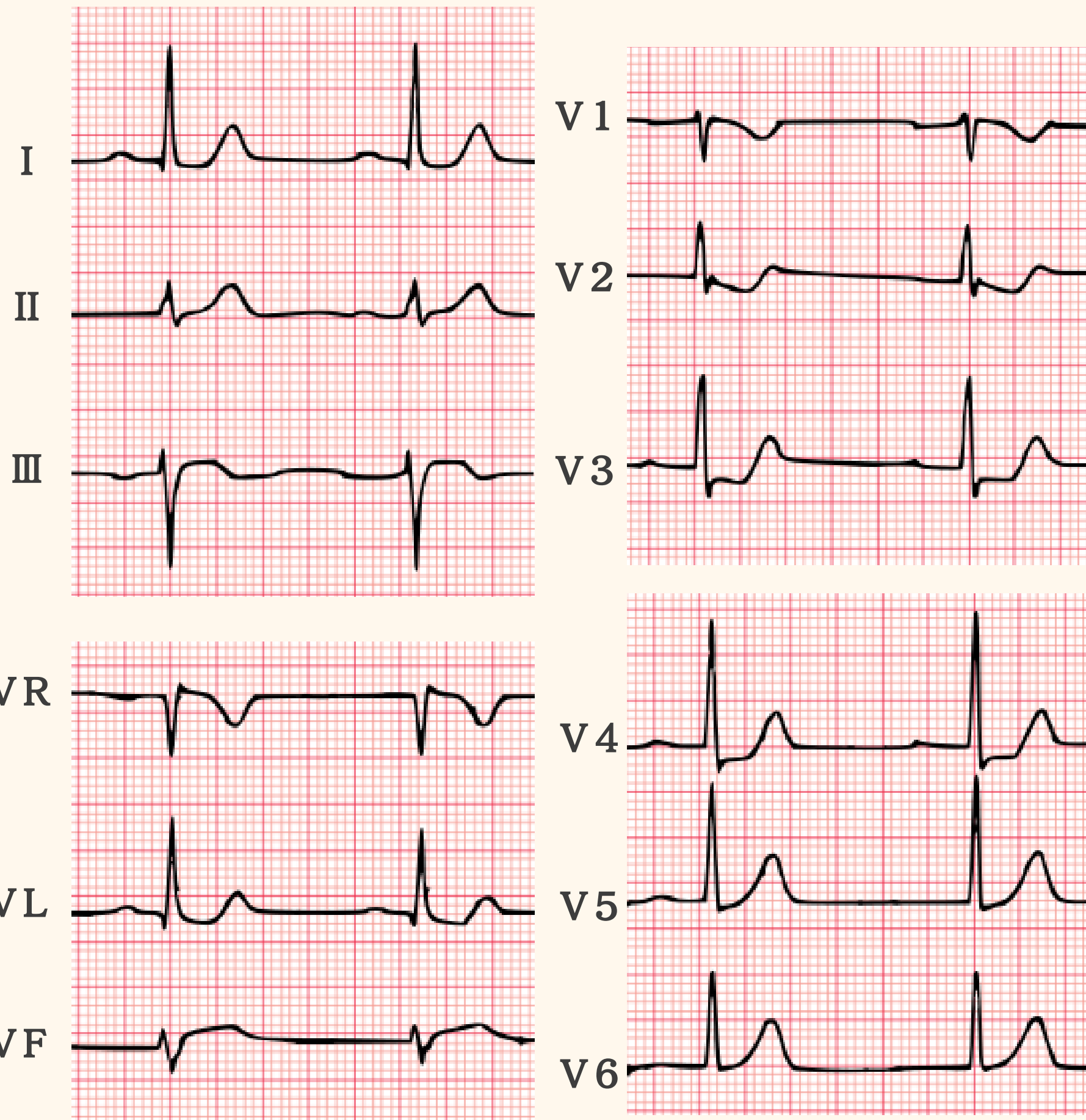
- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である



心電図チェックシート

60歳男性。胸痛を主訴に来院

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

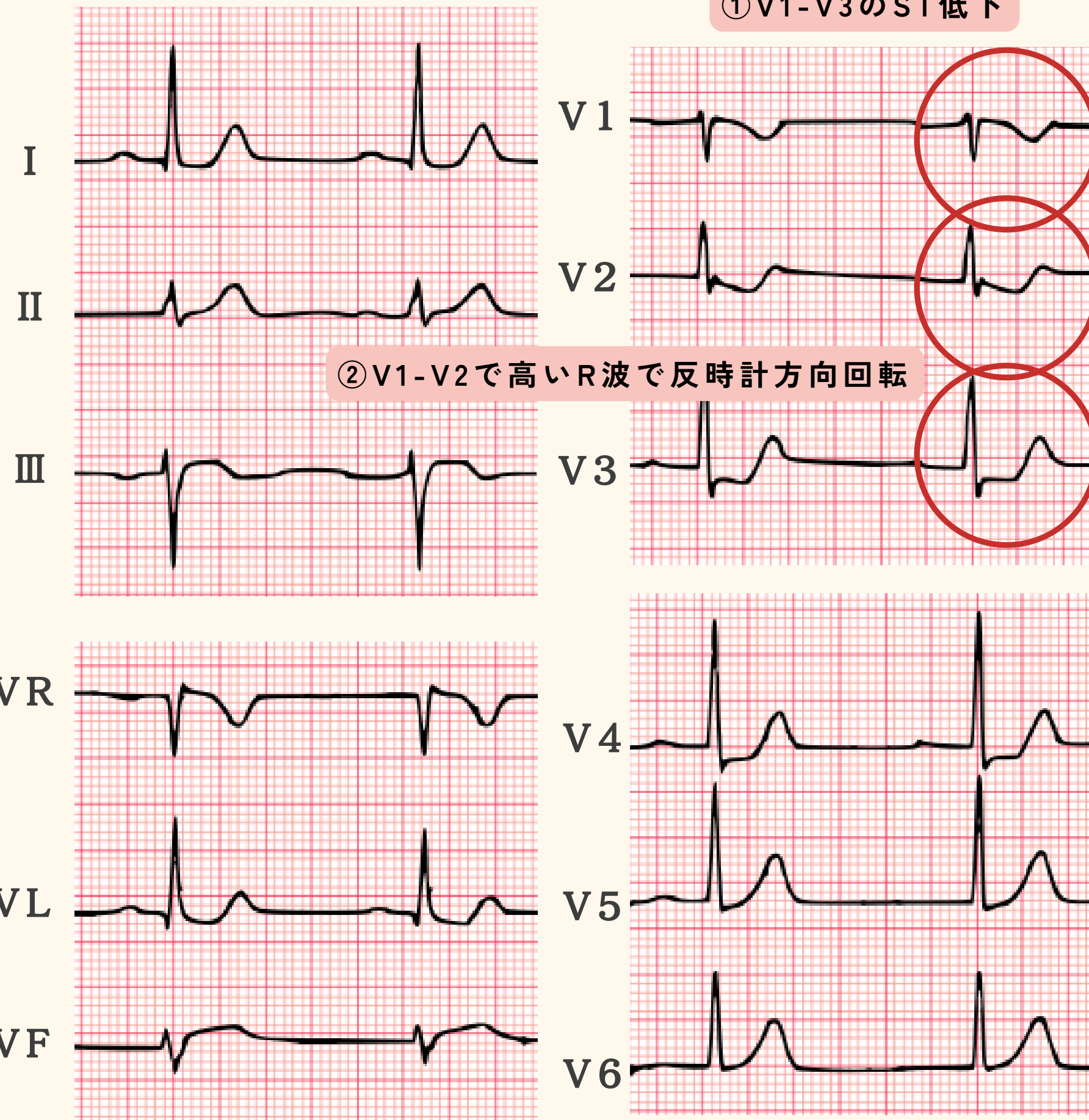
- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である



心電図チェックシート

60歳男性。胸痛を主訴に来院

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

後壁梗塞

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

8. 軸の判定

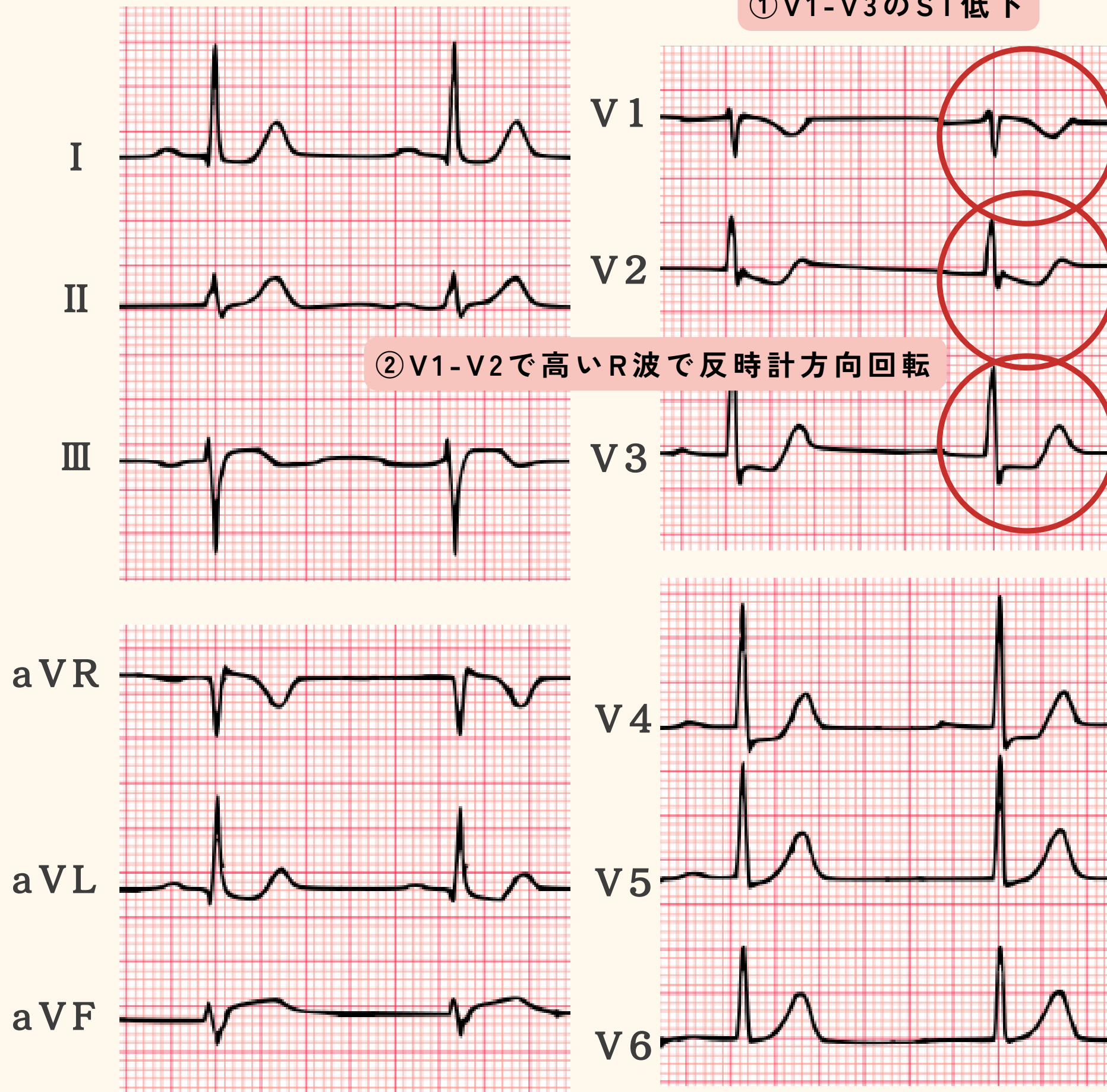
- I誘導、aVF誘導がともに上向き

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

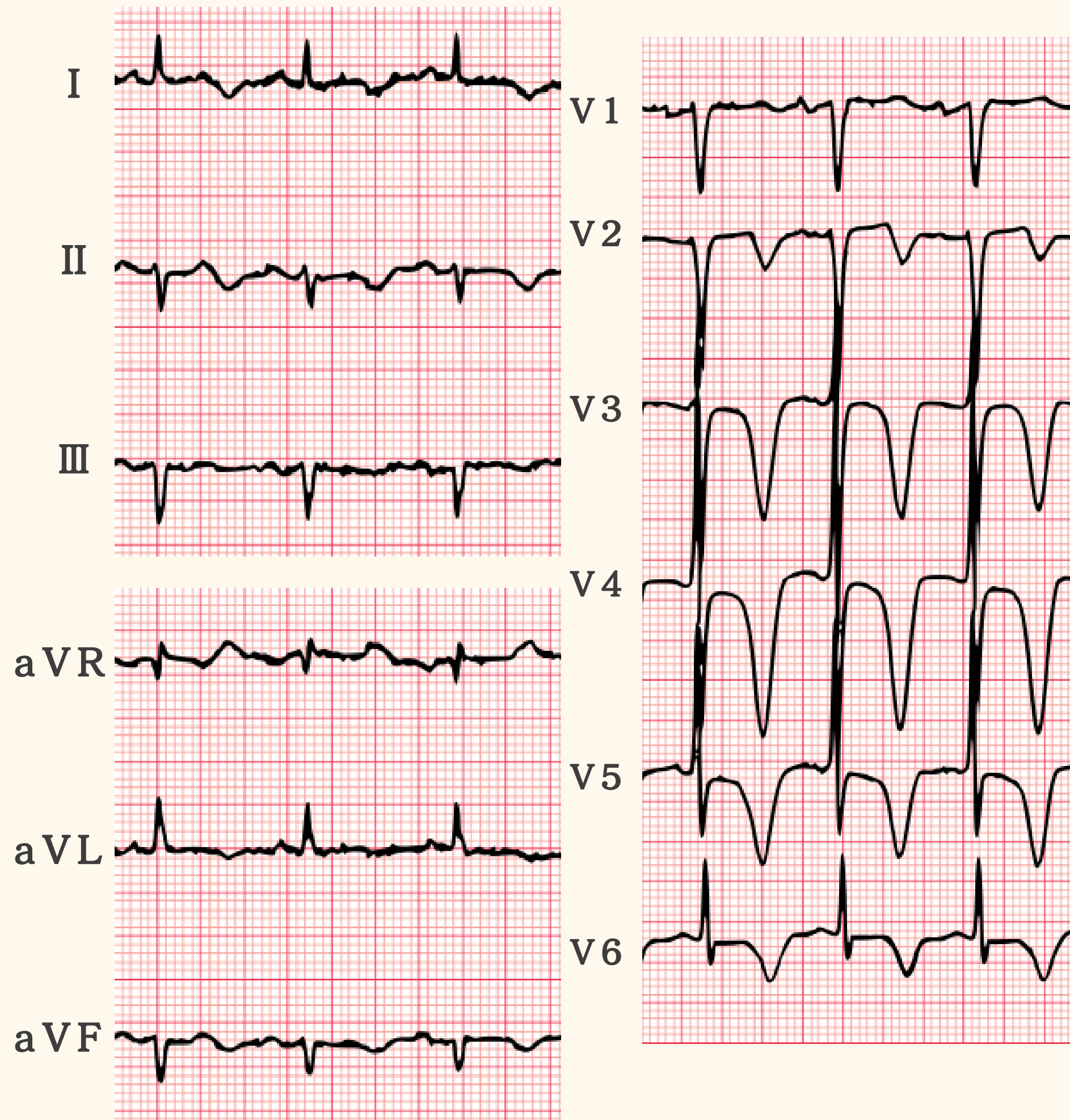
8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が
横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央
の基準線を超えていない

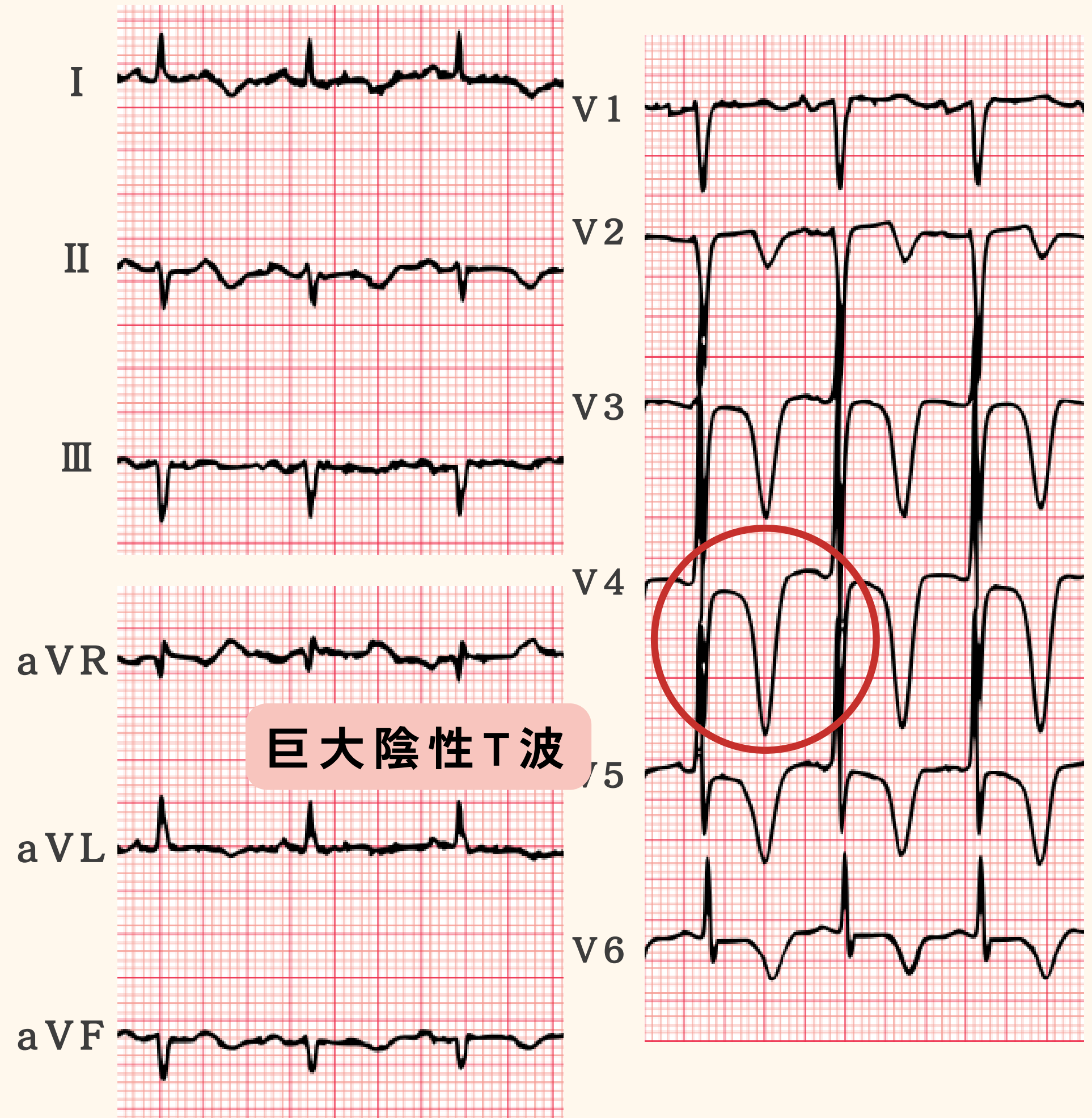
8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転した
ところが、V3~V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



心電図チェックシート

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

巨大陰性T波

例

考えられる病態

肥大心
脳血管障害
たこつぼ心筋症
虚血性心疾患

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

8. 軸の判定

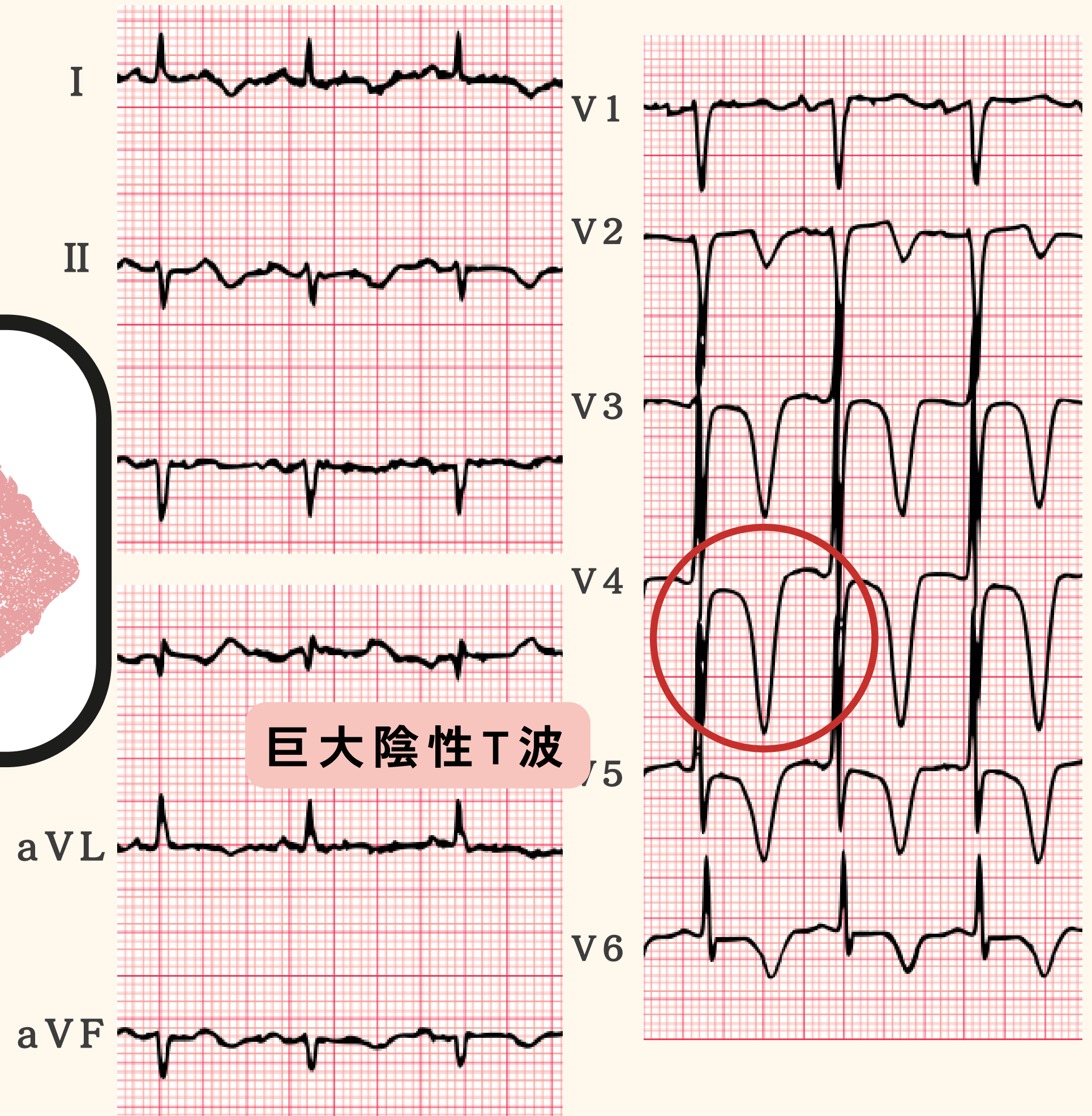
- I誘導、aVF誘導がともに上向き

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である



心電図チェックシート

30代男性。健診で心電図異常を指摘され、精査目的で来院。
無症状だが、叔父に突然死歴があるという。

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が
横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

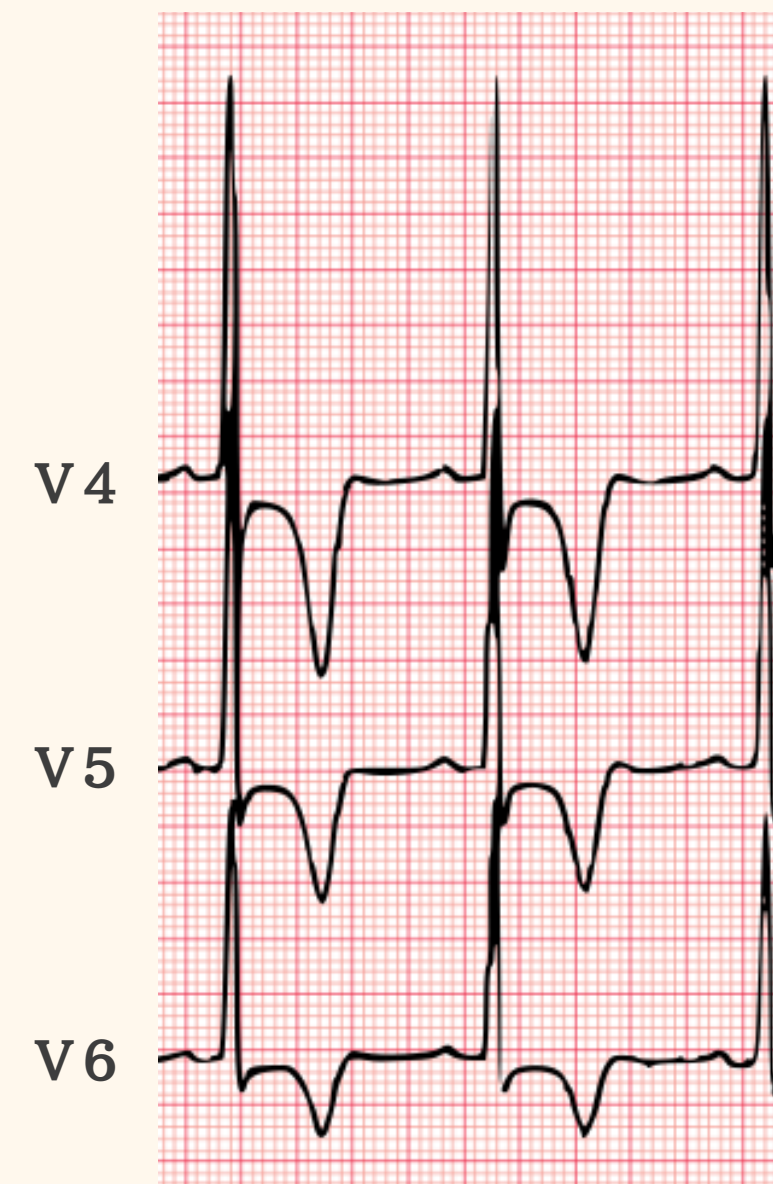
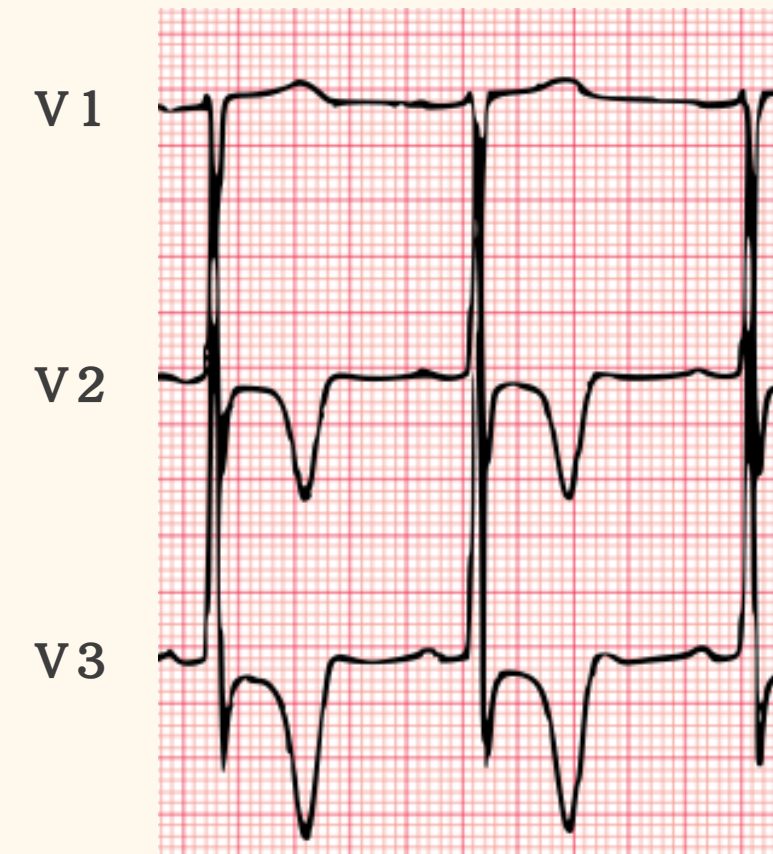
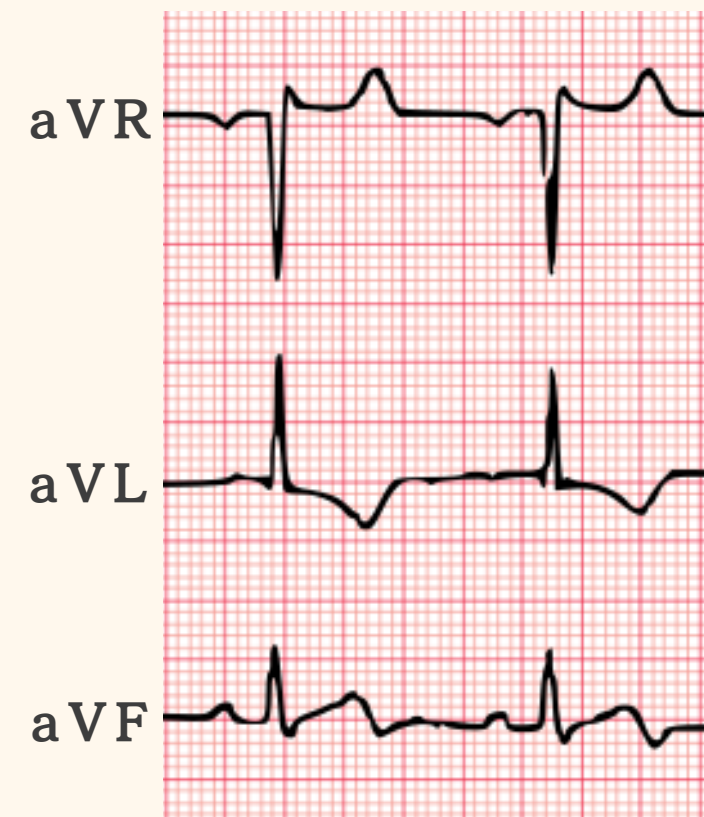
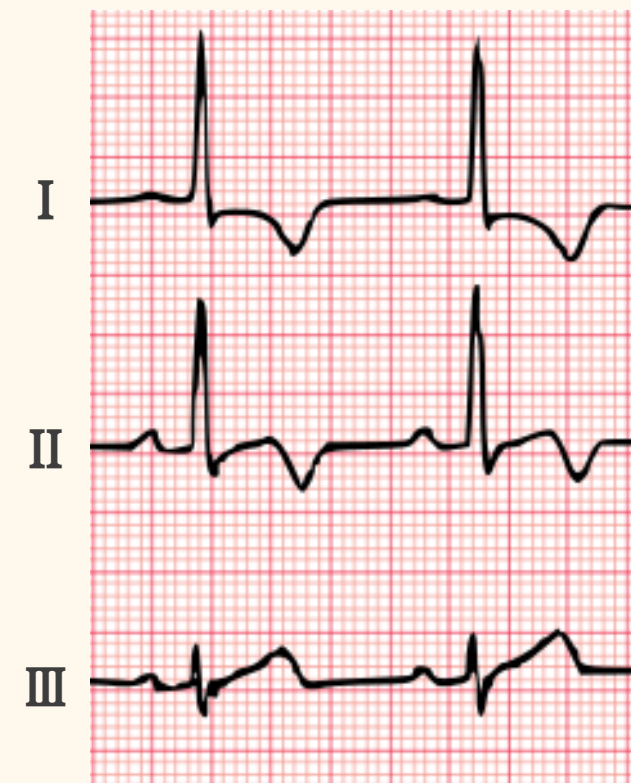
- T波の終わりが、RR間隔中央
の基準線を超えていない

8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転した
ところが、V3~V4誘導である



心電図チェックシート

30代男性。健診で心電図異常を指摘され、精査目的で来院。
無症状だが、叔父に突然死歴があるという。

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が
横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

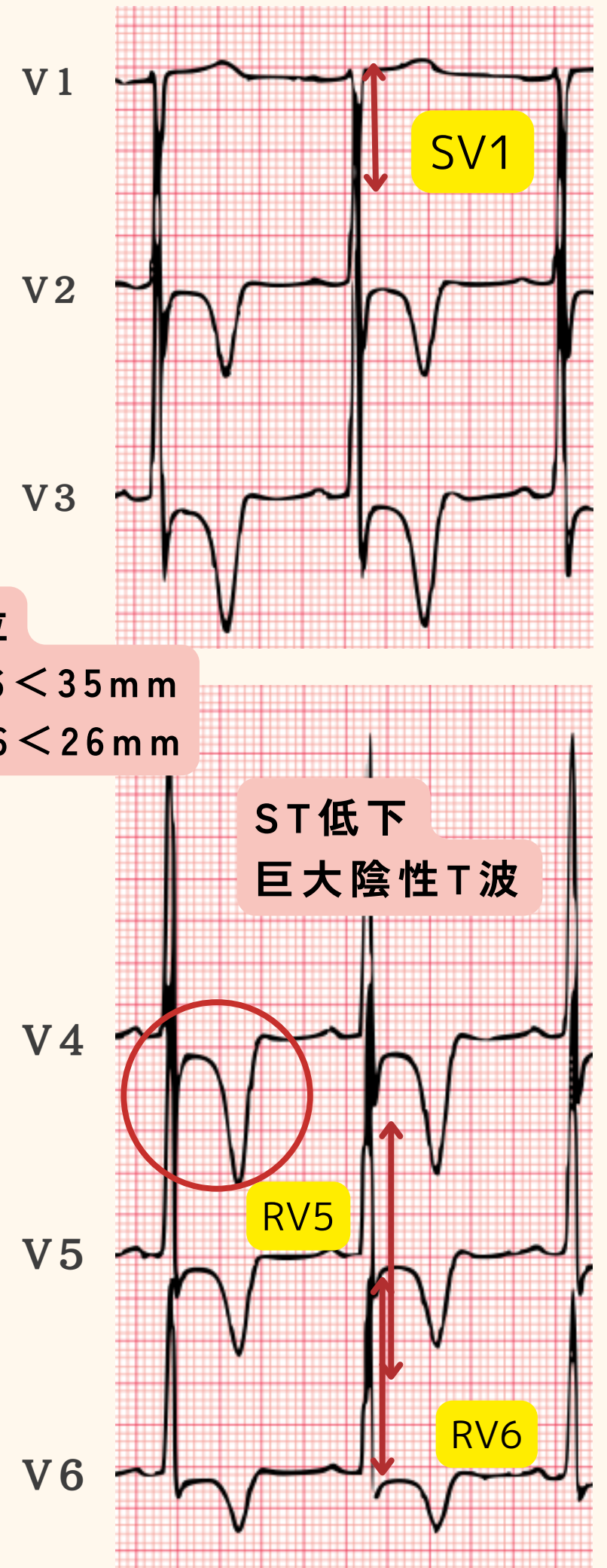
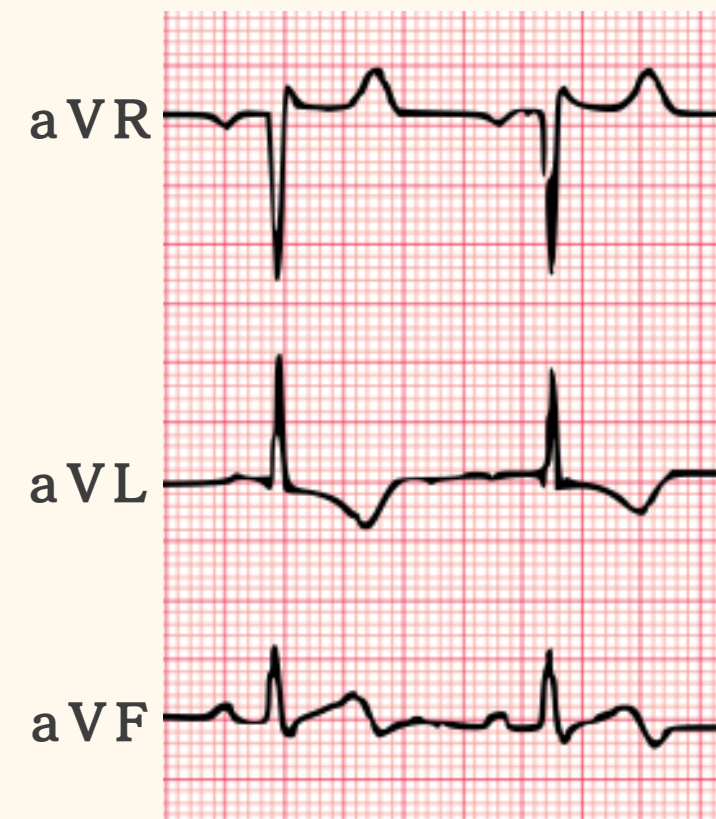
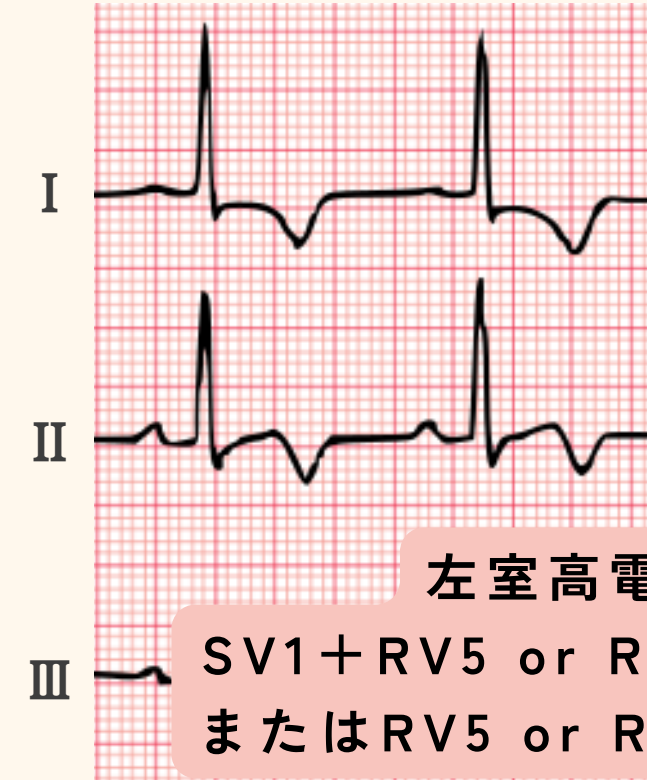
- T波の終わりが、RR間隔中央
の基準線を超えていない

8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転した
ところが、V3~V4誘導である



心電図チェックシート

30代男性。健診で心電図異常を指摘され、精査目的で来院。
無症状だが、叔父に突然死歴があるという。

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

肥大型心筋症

2. QRS-Tの全確認

- II誘導
- II誘導
- V1誘導
- V1誘導
- 横幅と深さ

6. ST-Tの全確認

- の基準線を超えてい

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

8. 軸の判定

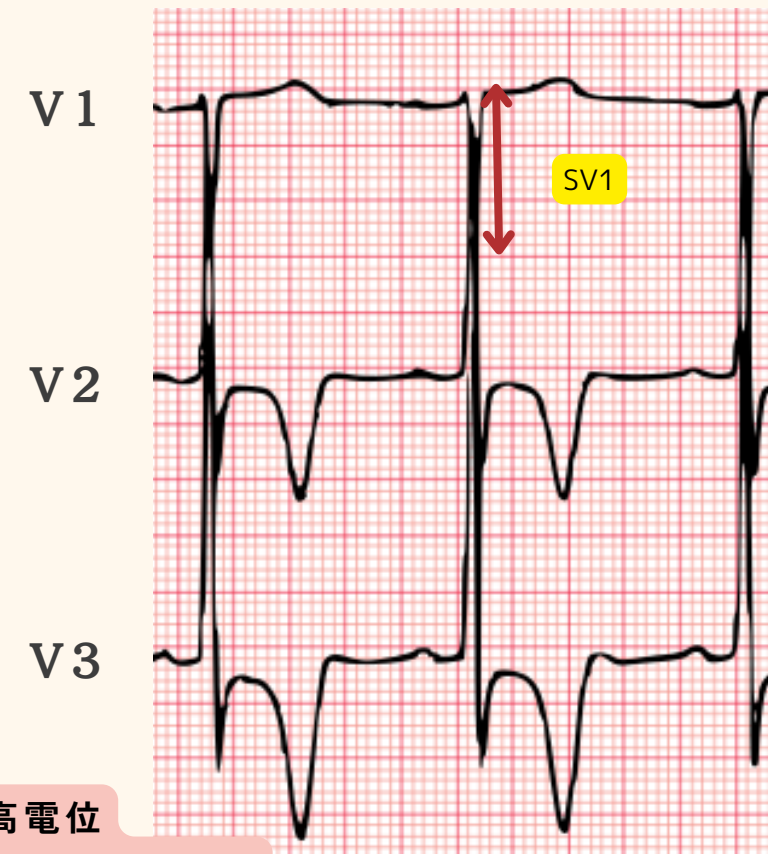
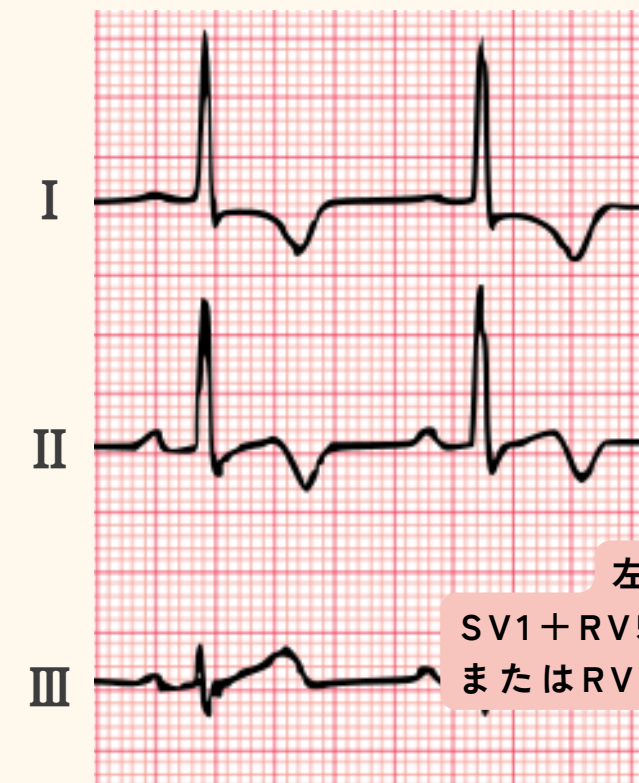
- I誘導、aVF誘導がともに上向き

4. 異常Q波の確認

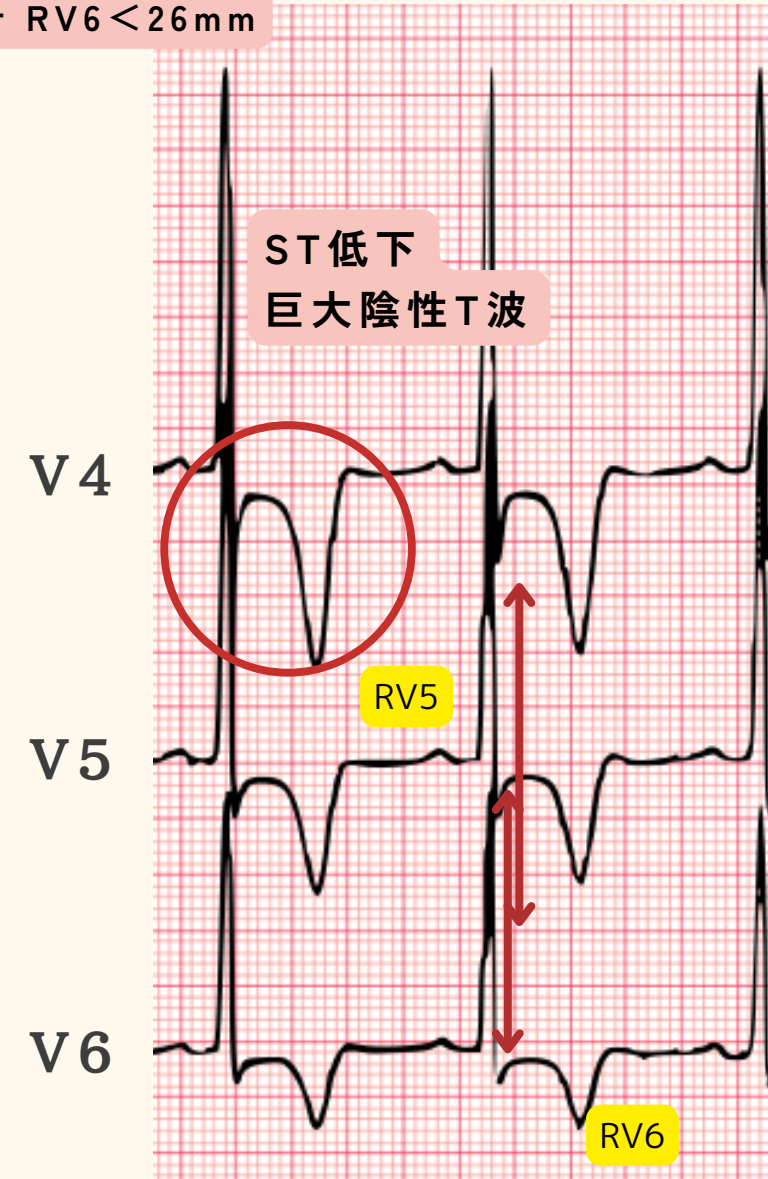
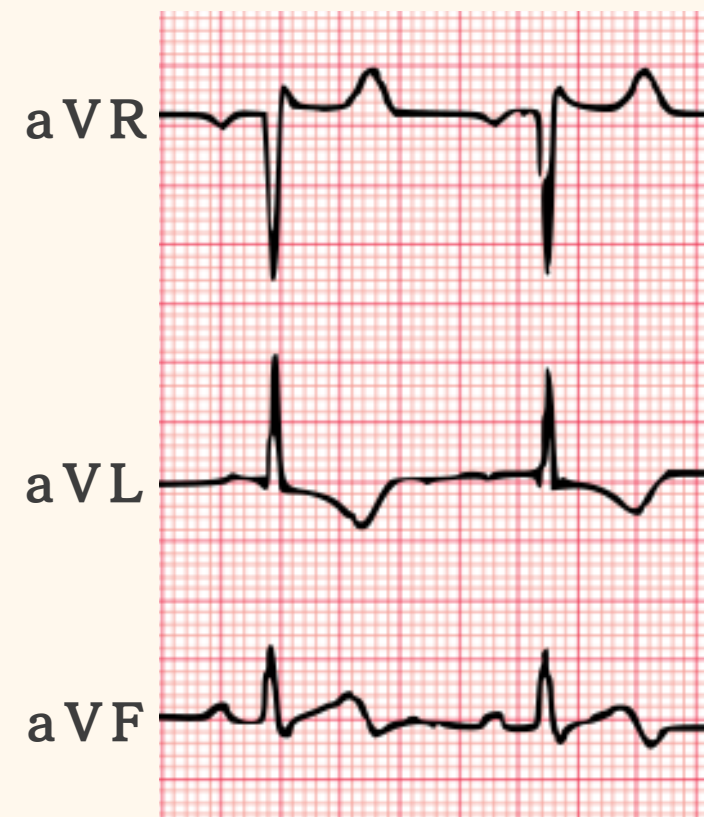
- 幅1mm以上
- 深さがR波の高さの1/4以上ない

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である



左室高電位
 $SV1 + RV5 \text{ or } RV6 < 35 \text{ mm}$
または $RV5 \text{ or } RV6 < 26 \text{ mm}$



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

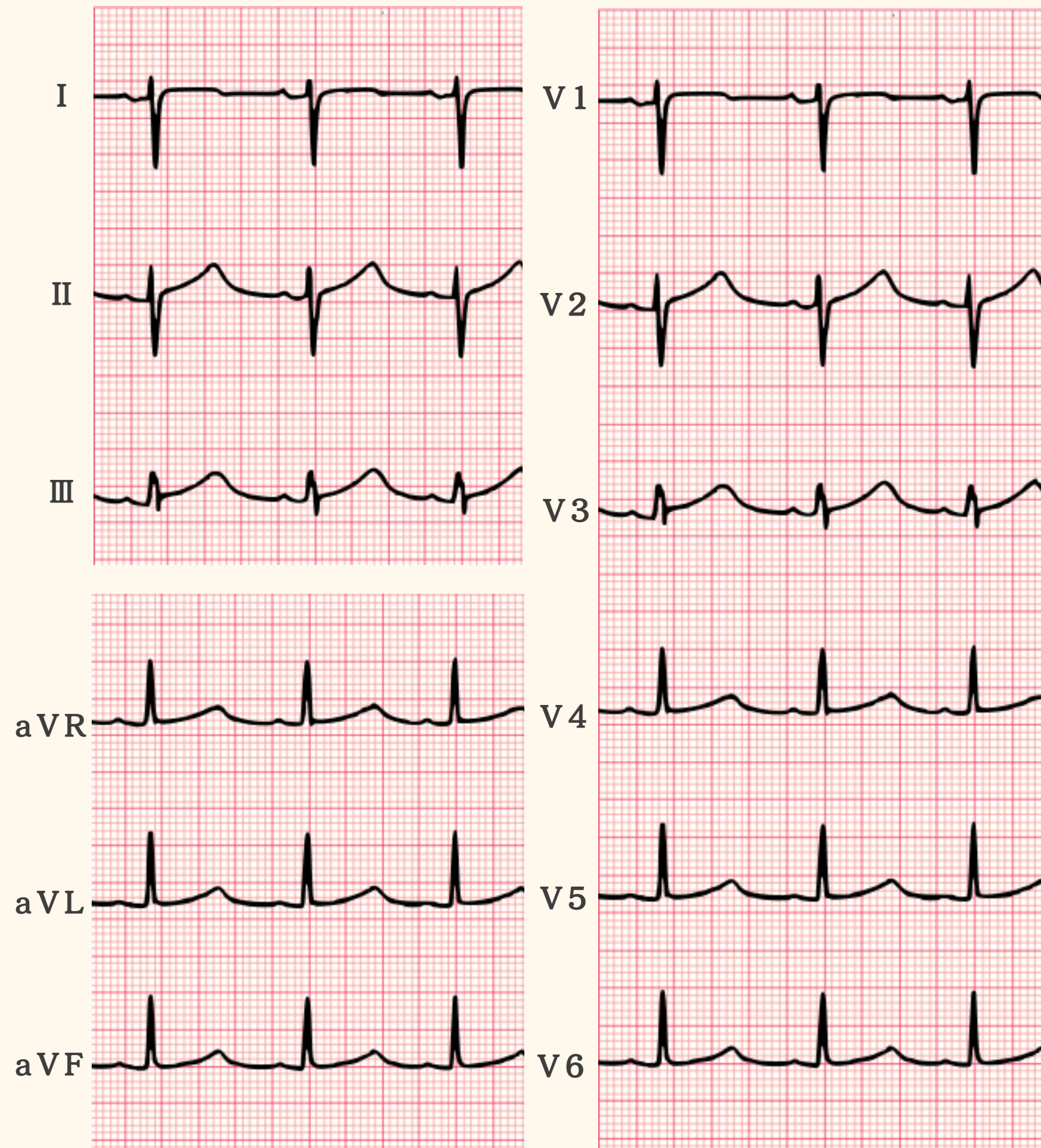
8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

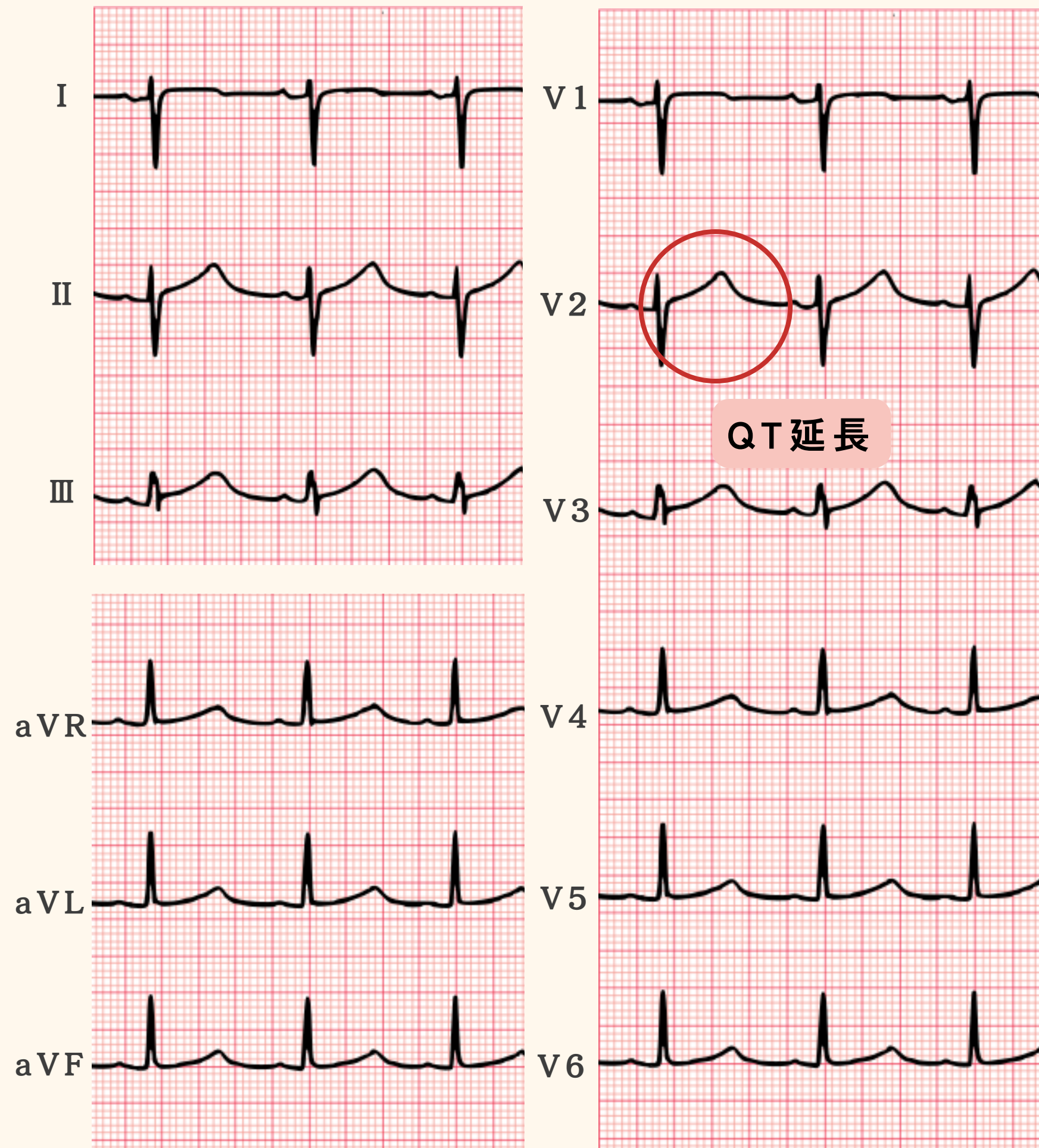
8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



心電図チェックシート

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう

1. リズムと心拍数の確認

5. QRS波の評価

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導、II誘導のP波は上向き

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

QT延長

先天性

QT延長症候群 (LQTS)

LQT1
LQT2
LQT3

後天性

低カルシウム血症
低マグネシウム血症
低カリウム血症
徐脈
薬剤性
たこつぼ心筋症
虚血性心疾患
低体温

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

8. 軸の判定

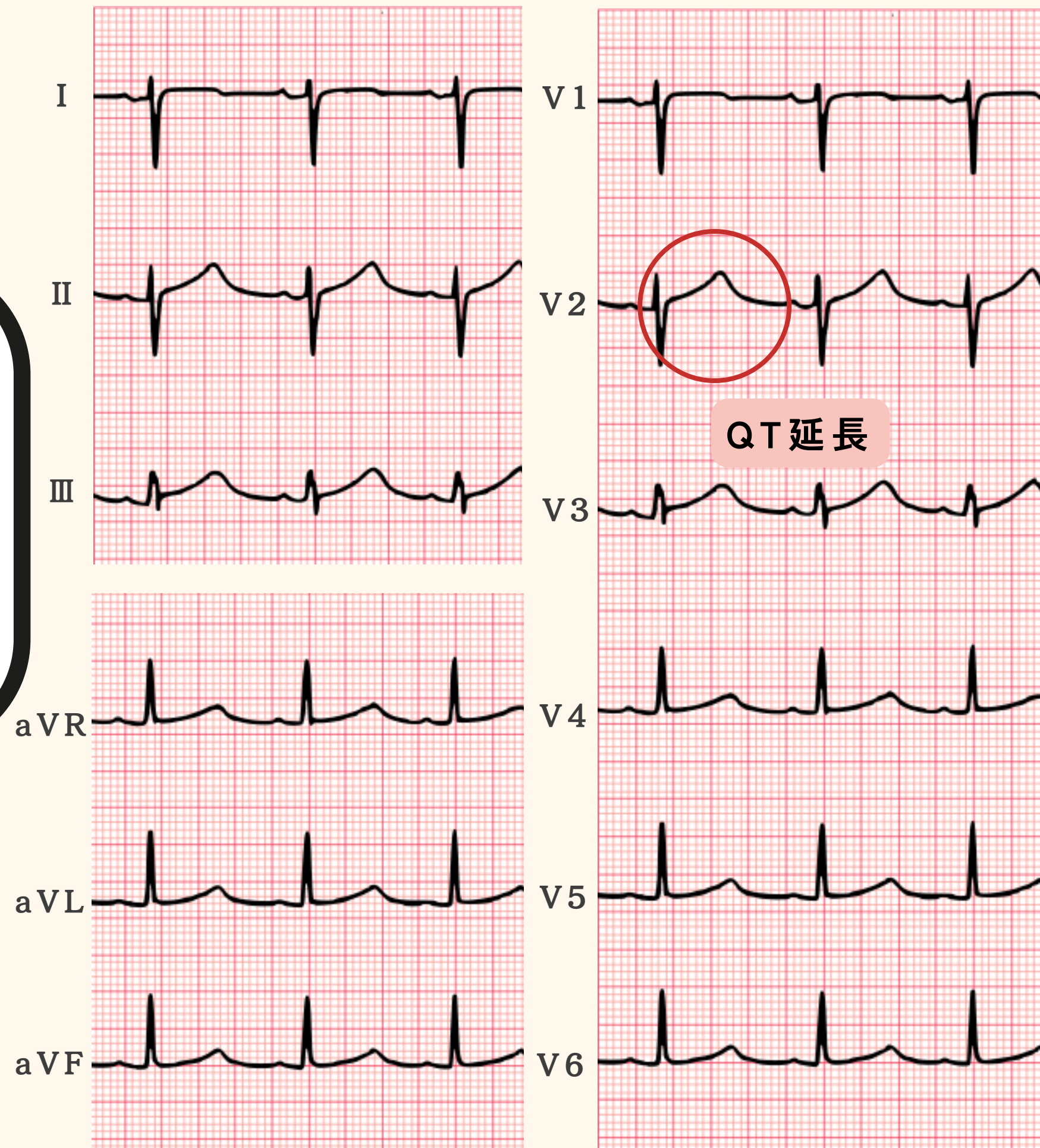
- I誘導、aVF誘導がともに上向き

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

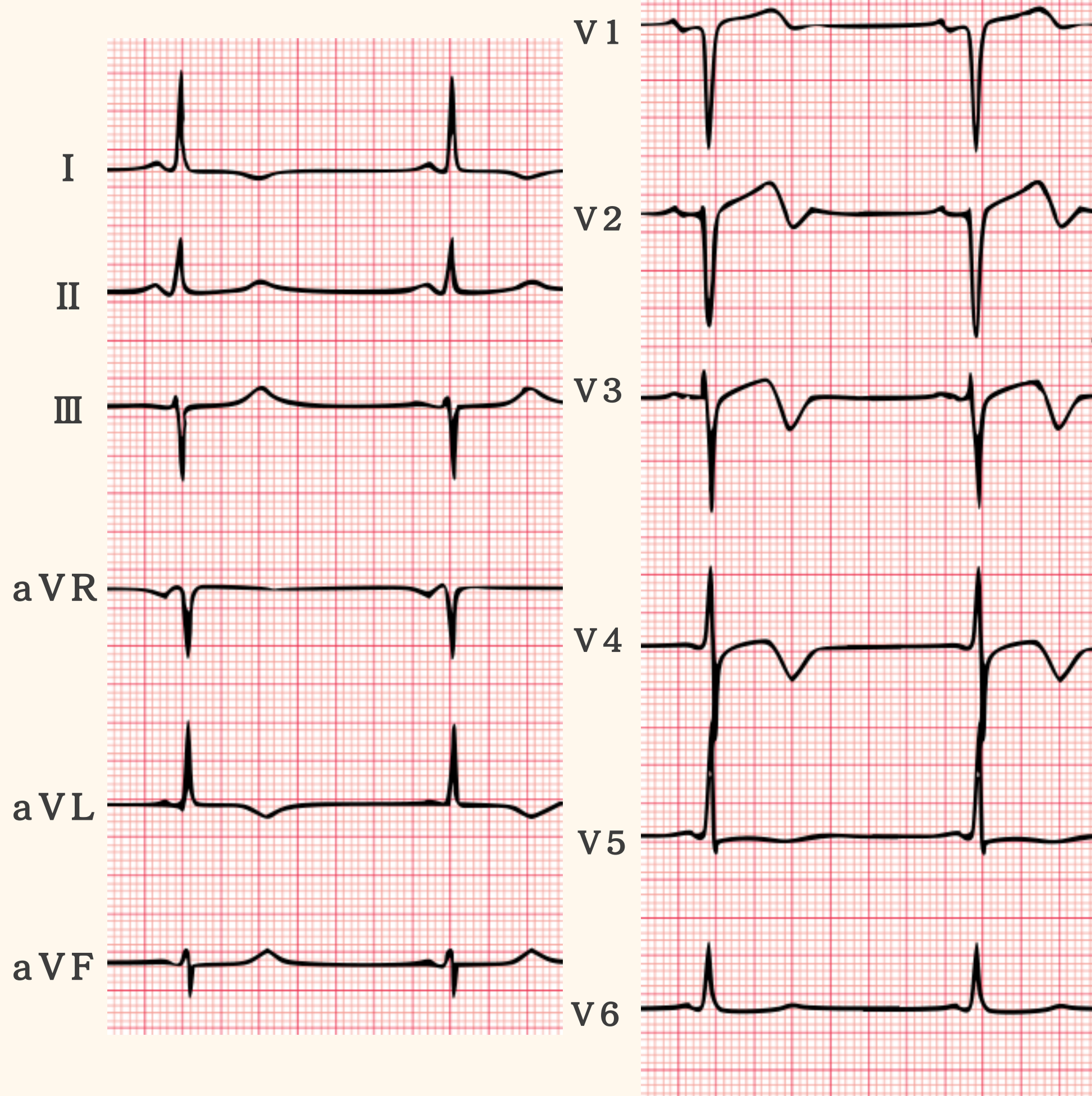
8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

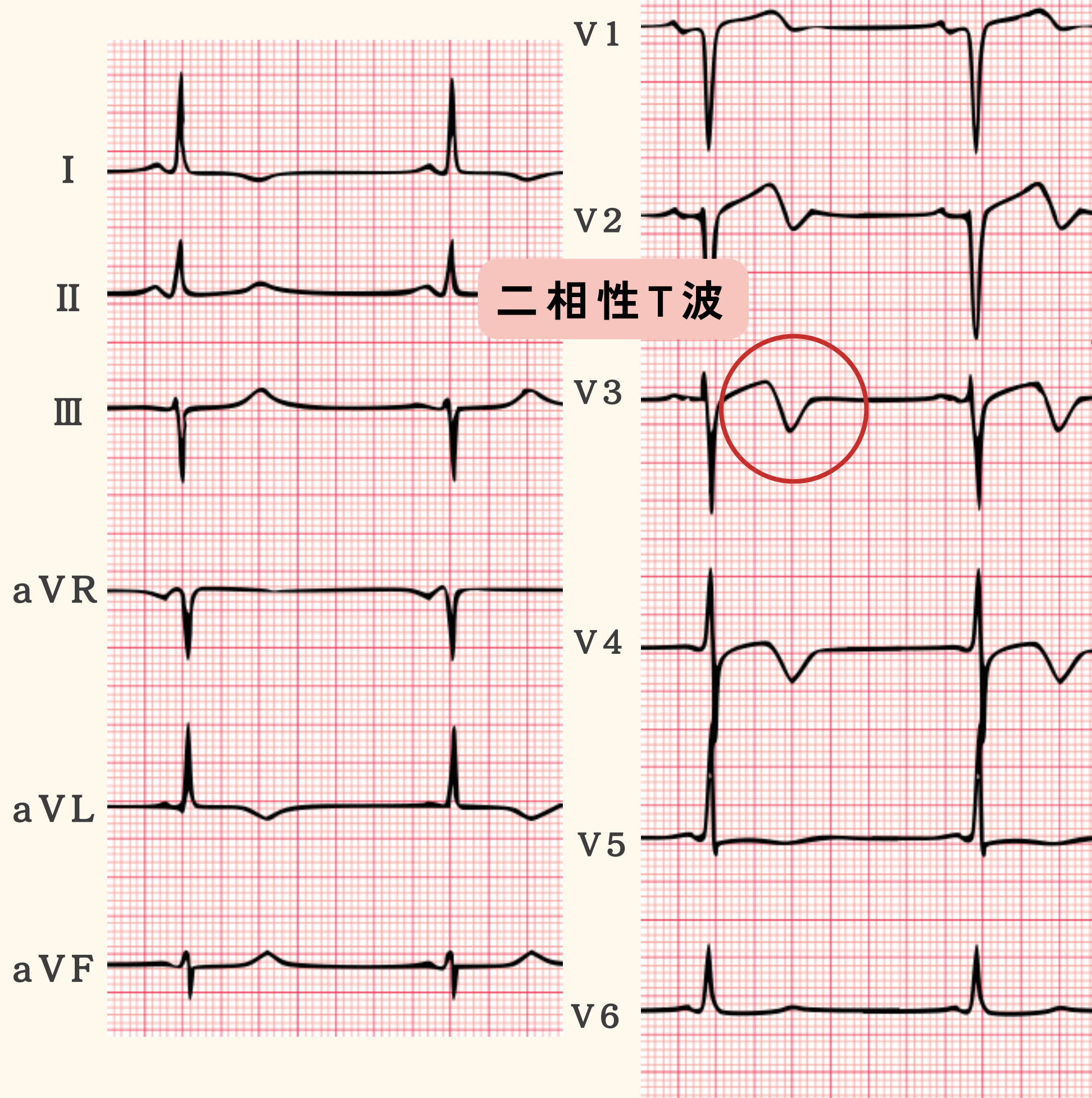
8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



心電図チェックシート

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう

1. リズムと心拍数の確認

5. QRS波の評価

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
-

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

二相性T波

例

考えられる病態

急性冠症候群

Wellens症候群

3. PQ間隔の確認

8. 軸の判定

- PQ間隔が3~5マス以内

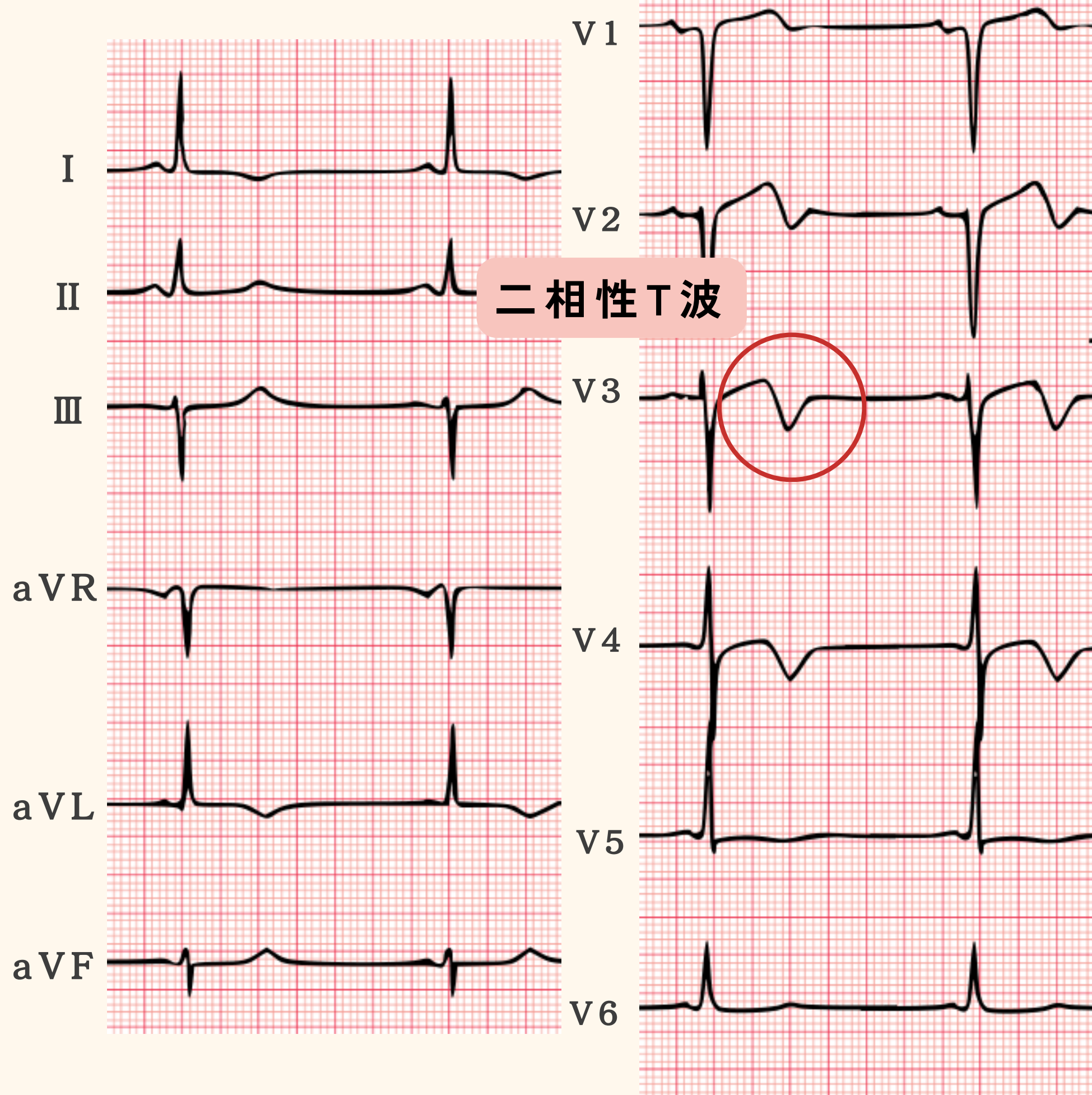
- I誘導、aVF誘導がともに上向き

4. 異常Q波の確認

9. 移行帯の判定

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

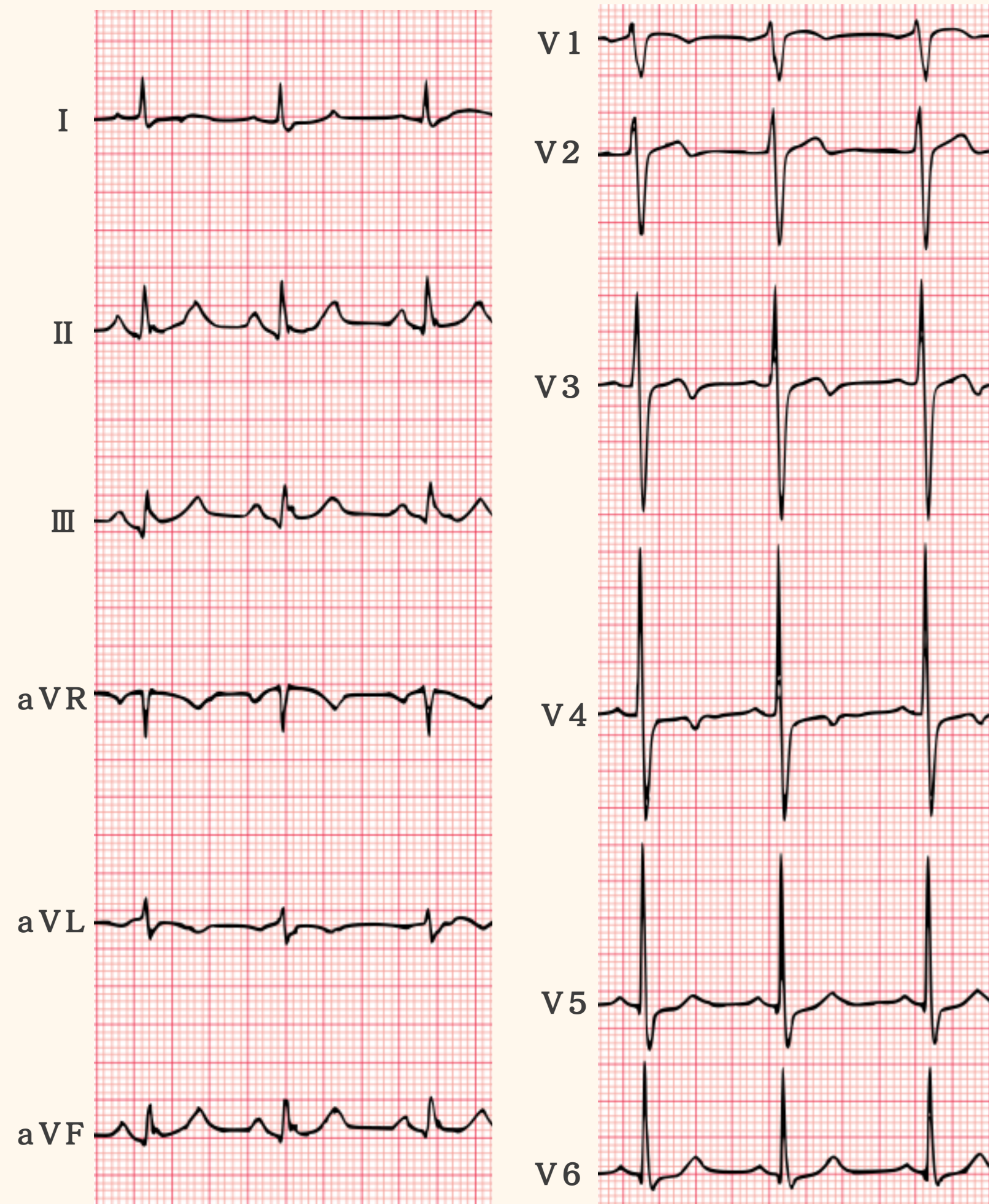
8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

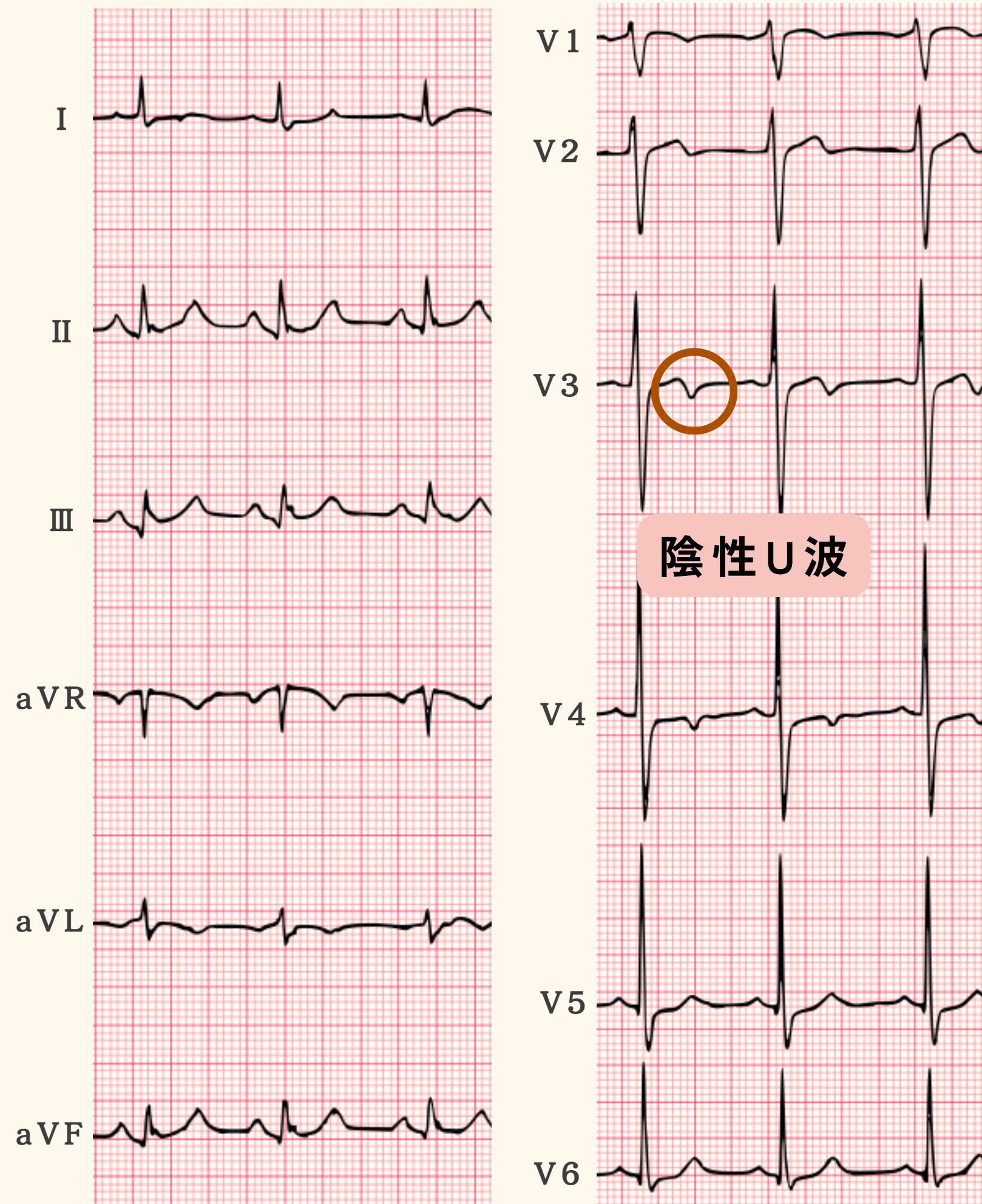
8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
-

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

陰性U波

考えられる疾患

前壁の虚血
左室肥大

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

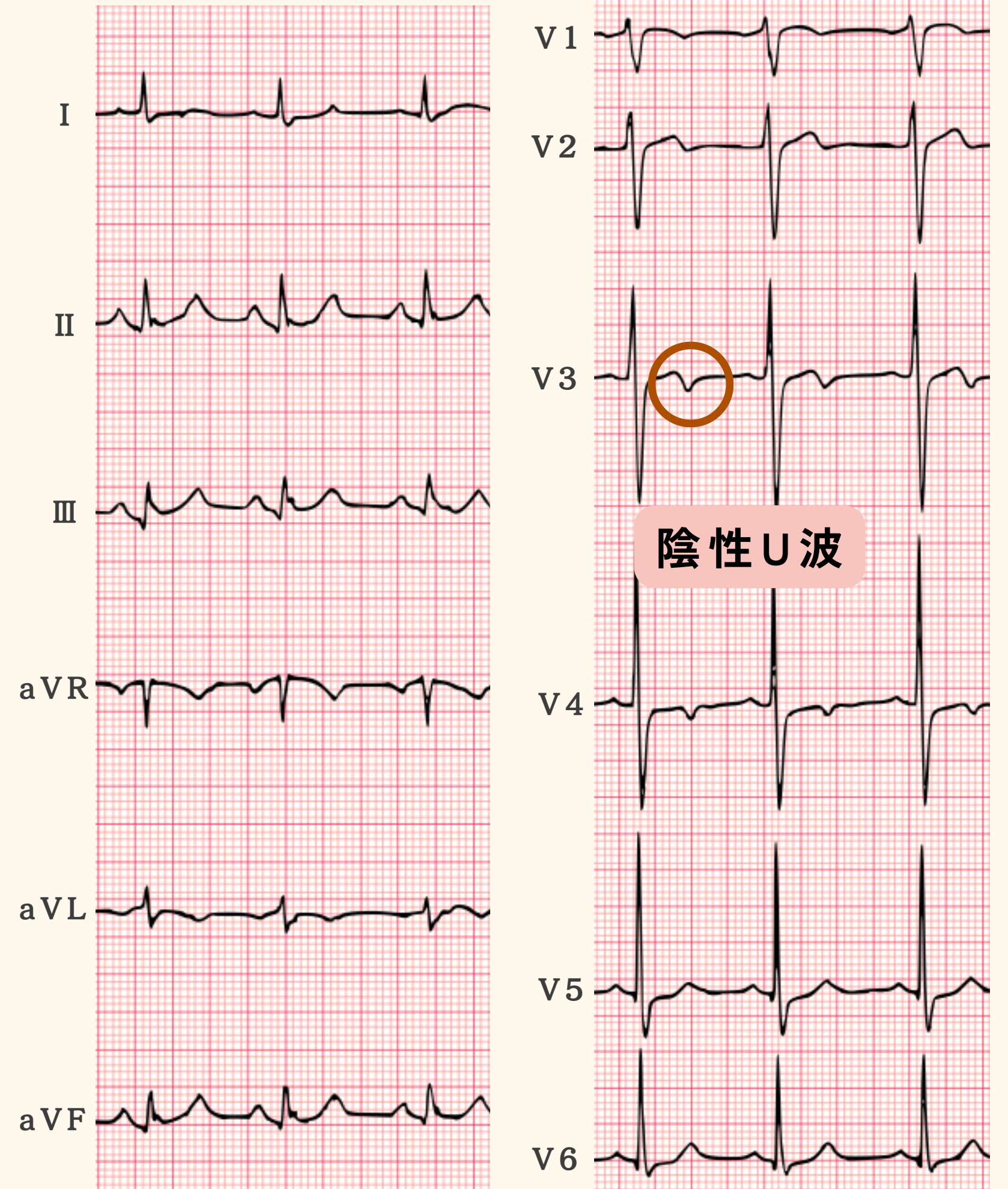
4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

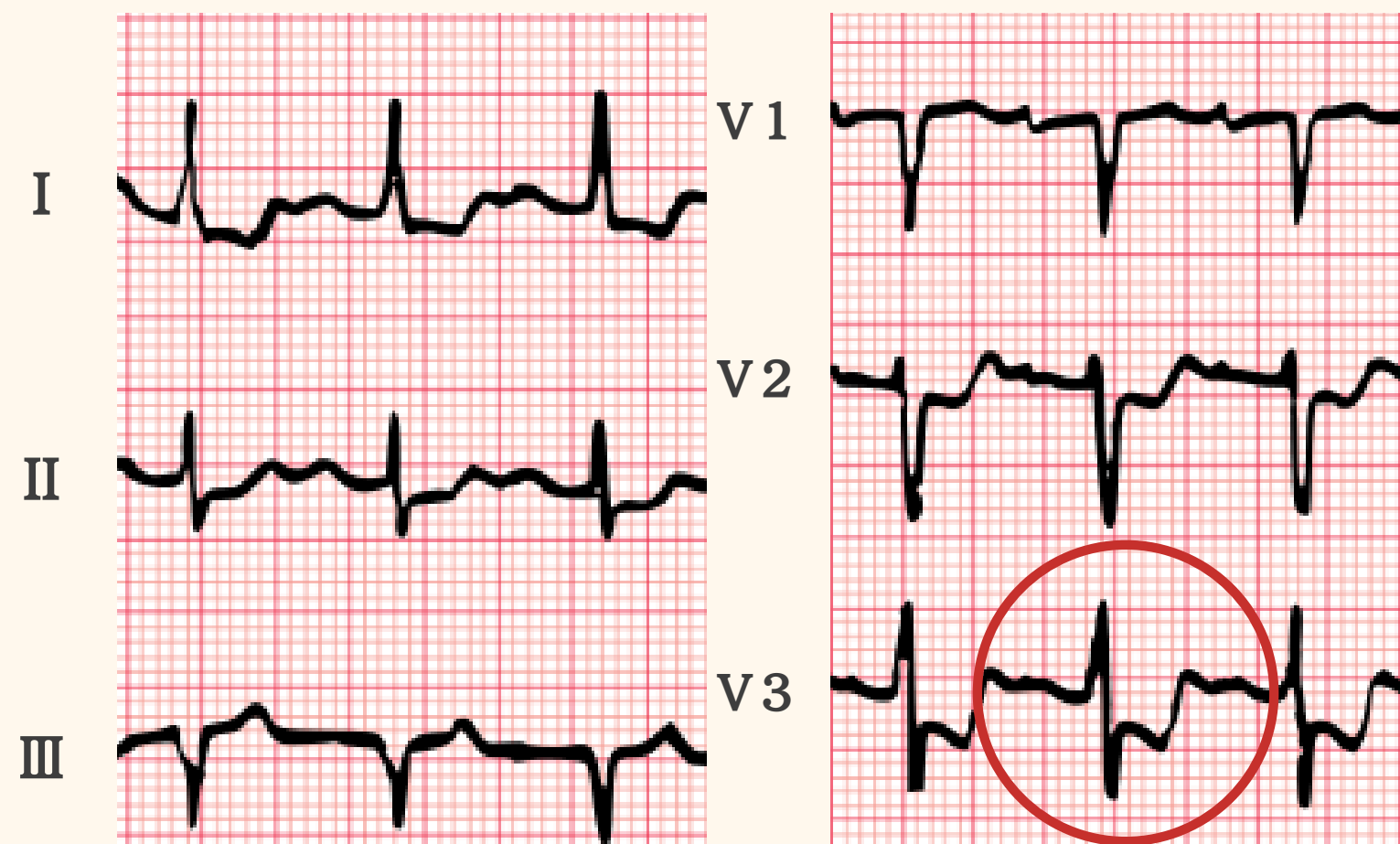
8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

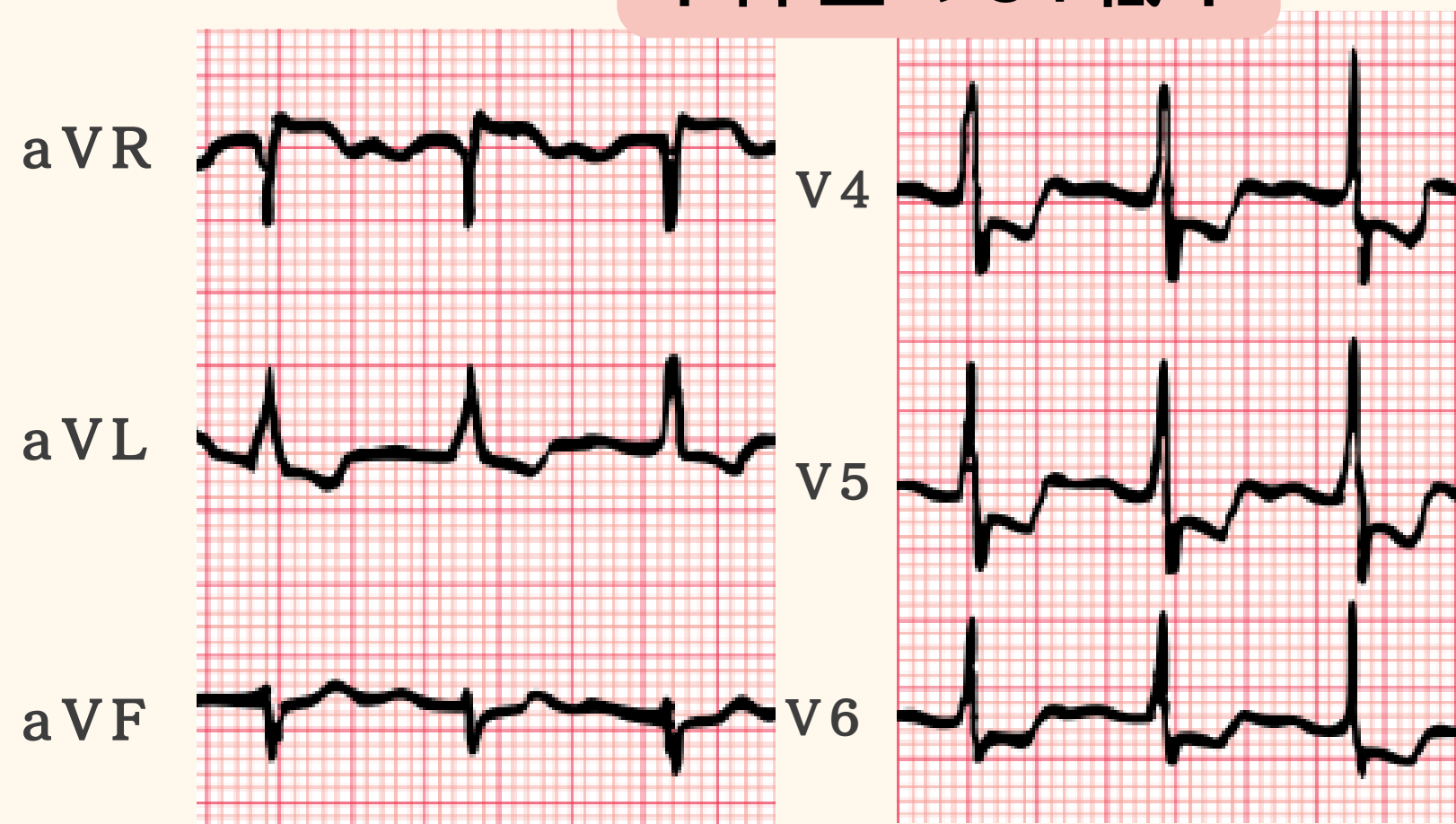
9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

60歳男性。最近、階段昇降時に胸部圧迫感を自覚するようになったため、外来でトレッドミル負荷心電図検査を施行した。



下降型のST低下



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

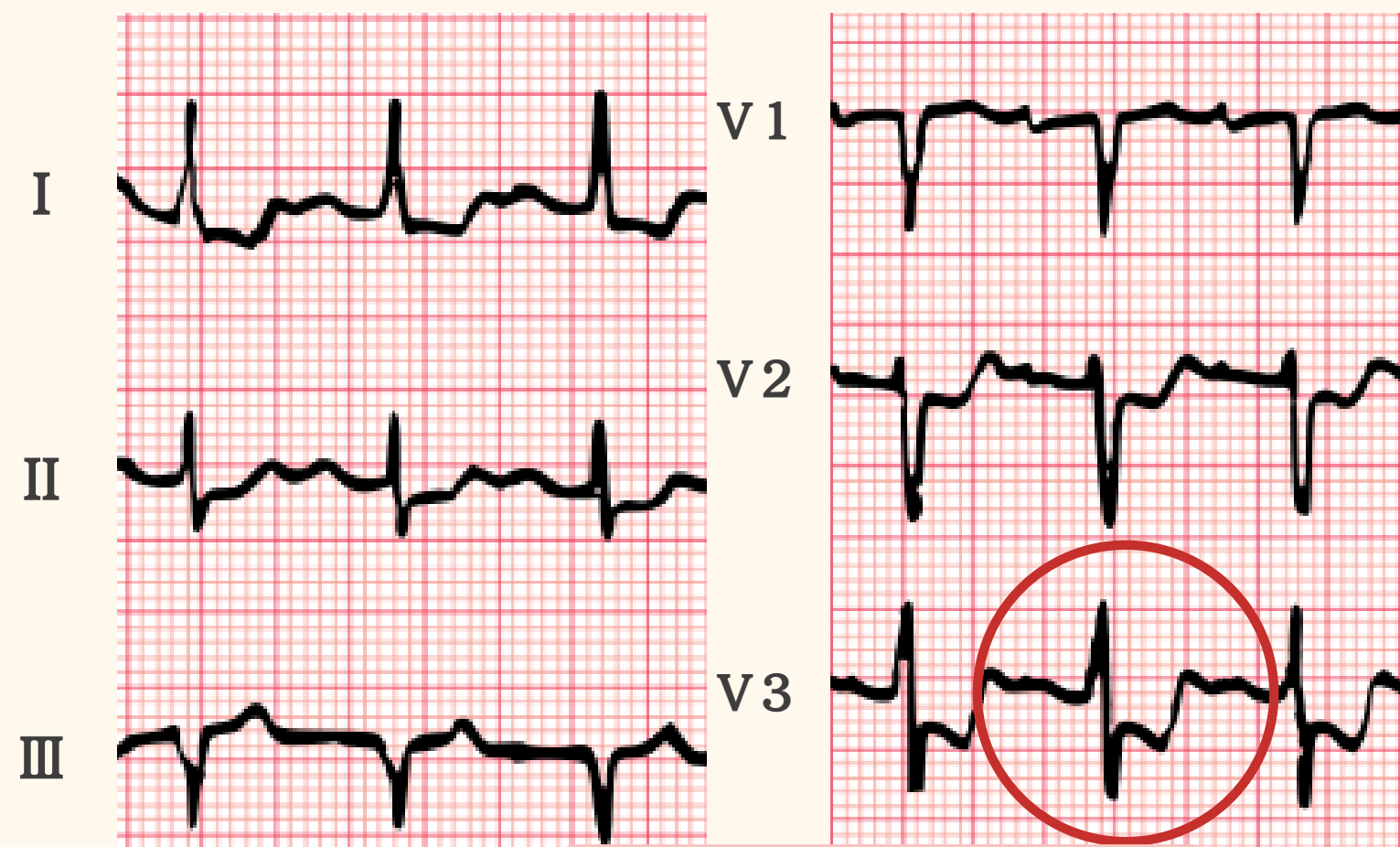
8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

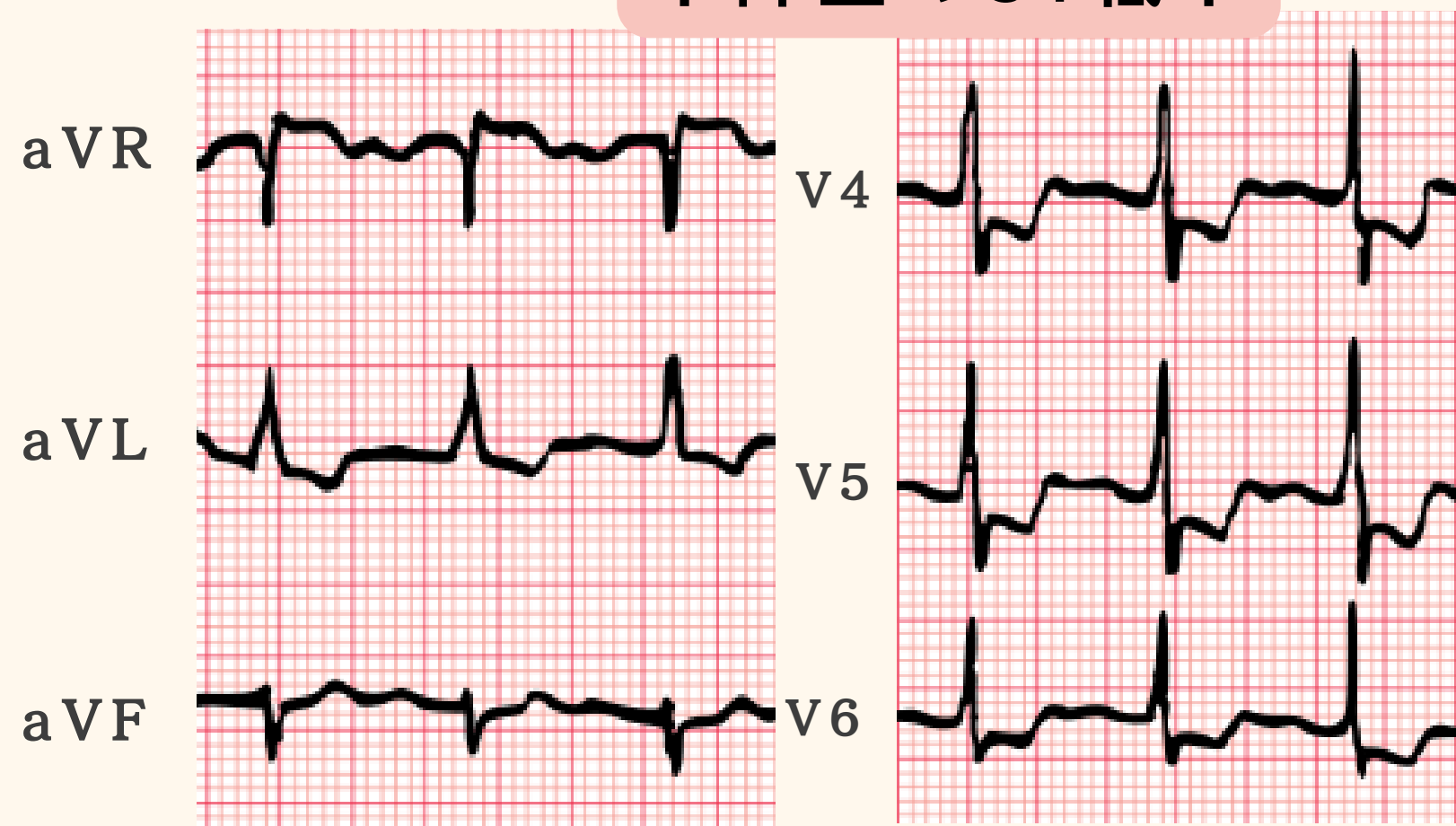
9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

60歳男性。最近、階段昇降時に胸部圧迫感を自覚するようになったため、外来でトレッドミル負荷心電図検査を施行した。



下降型のST低下



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
-

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

安定型狭心症 (労作性狭心症)

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

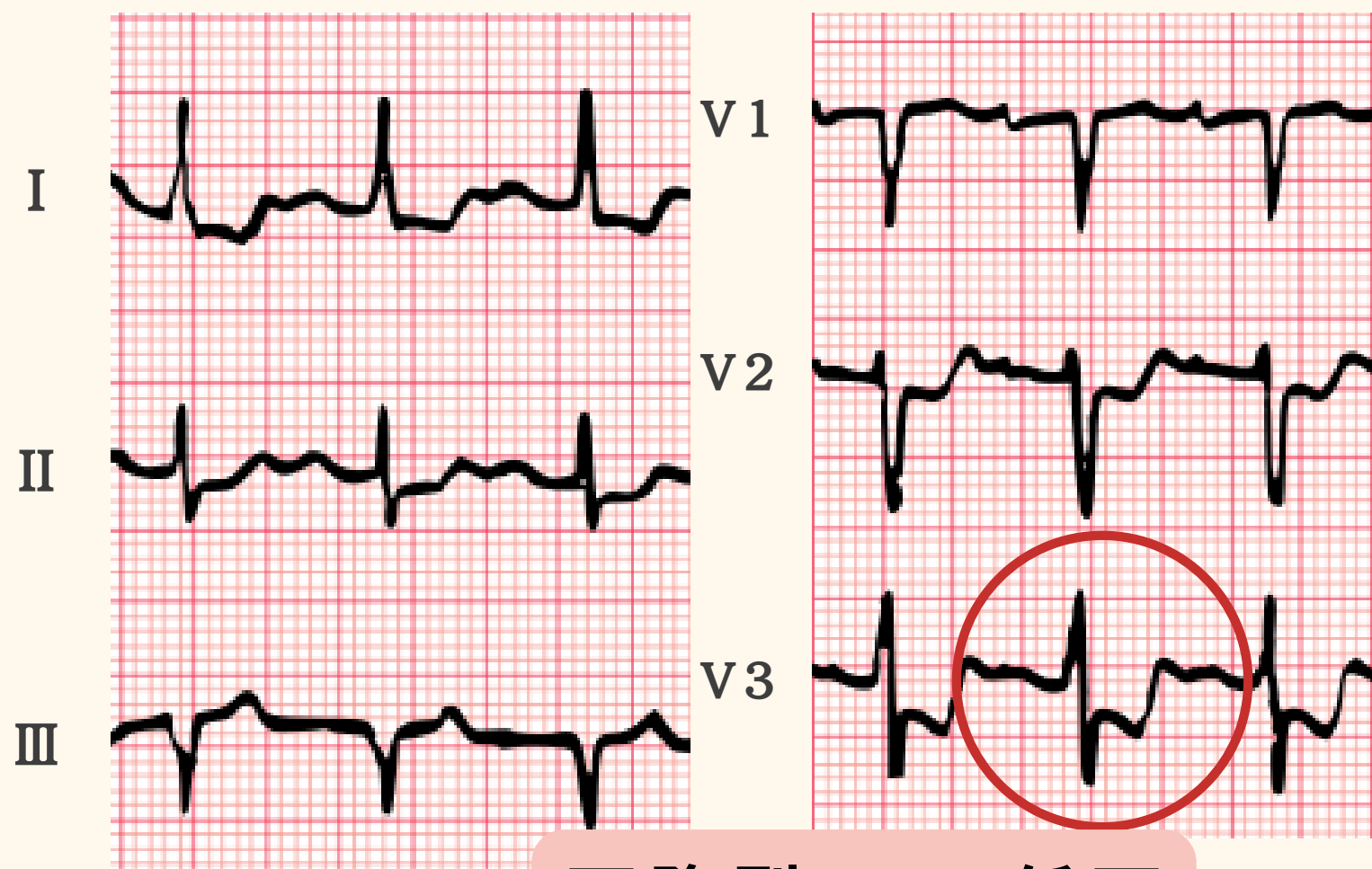
4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

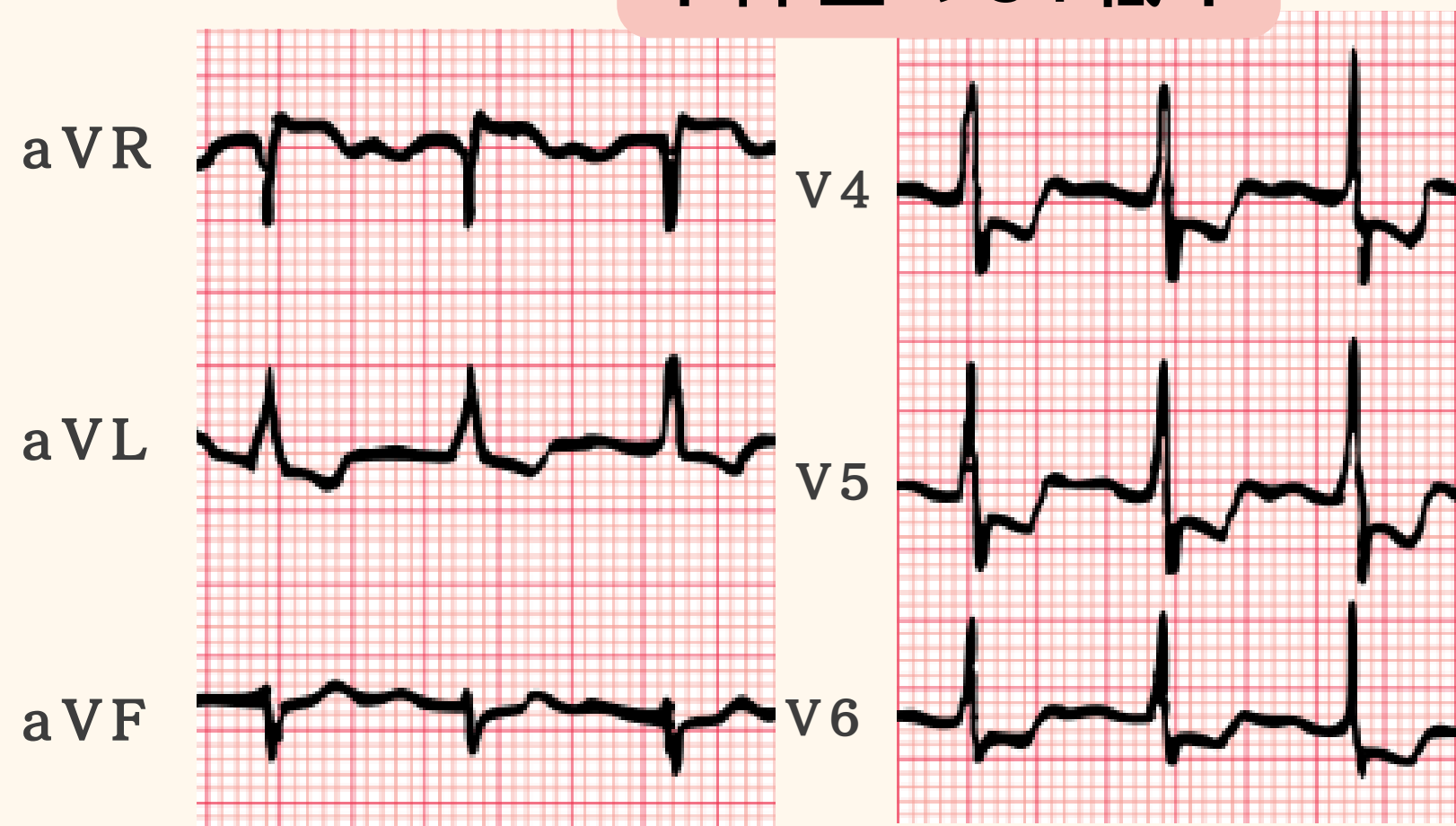
9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

60歳男性。最近、階段昇降時に胸部圧迫感を自覚するようになったため、外来でトレッドミル負荷心電図検査を施行した。



下降型のST低下



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

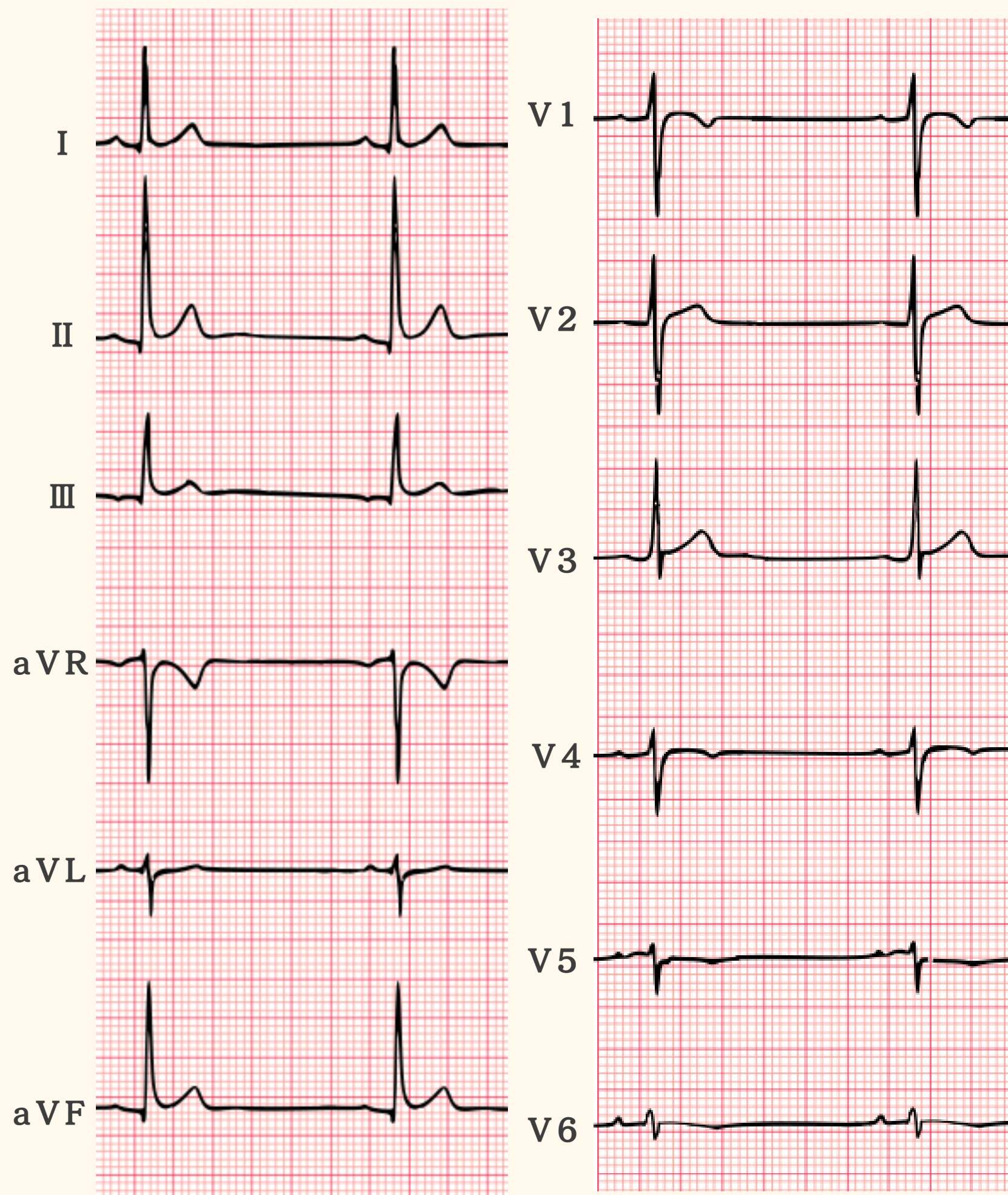
8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

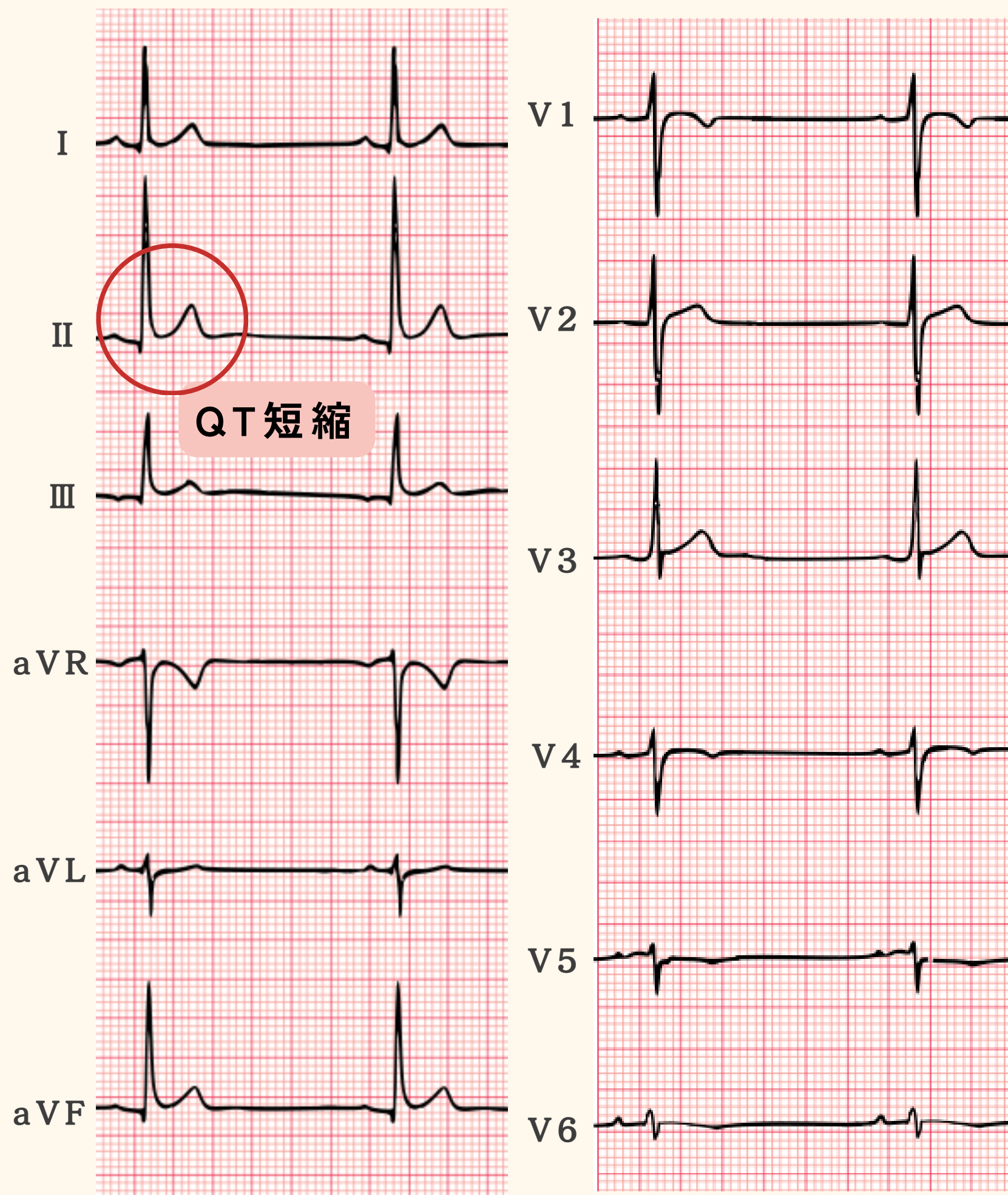
8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



心電図チェックシート

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
-

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

QT短縮

先天性

QT短縮症候群
(SQTS)

後天性

高カルシウム血症
ジギタリス効果

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

8. 軸の判定

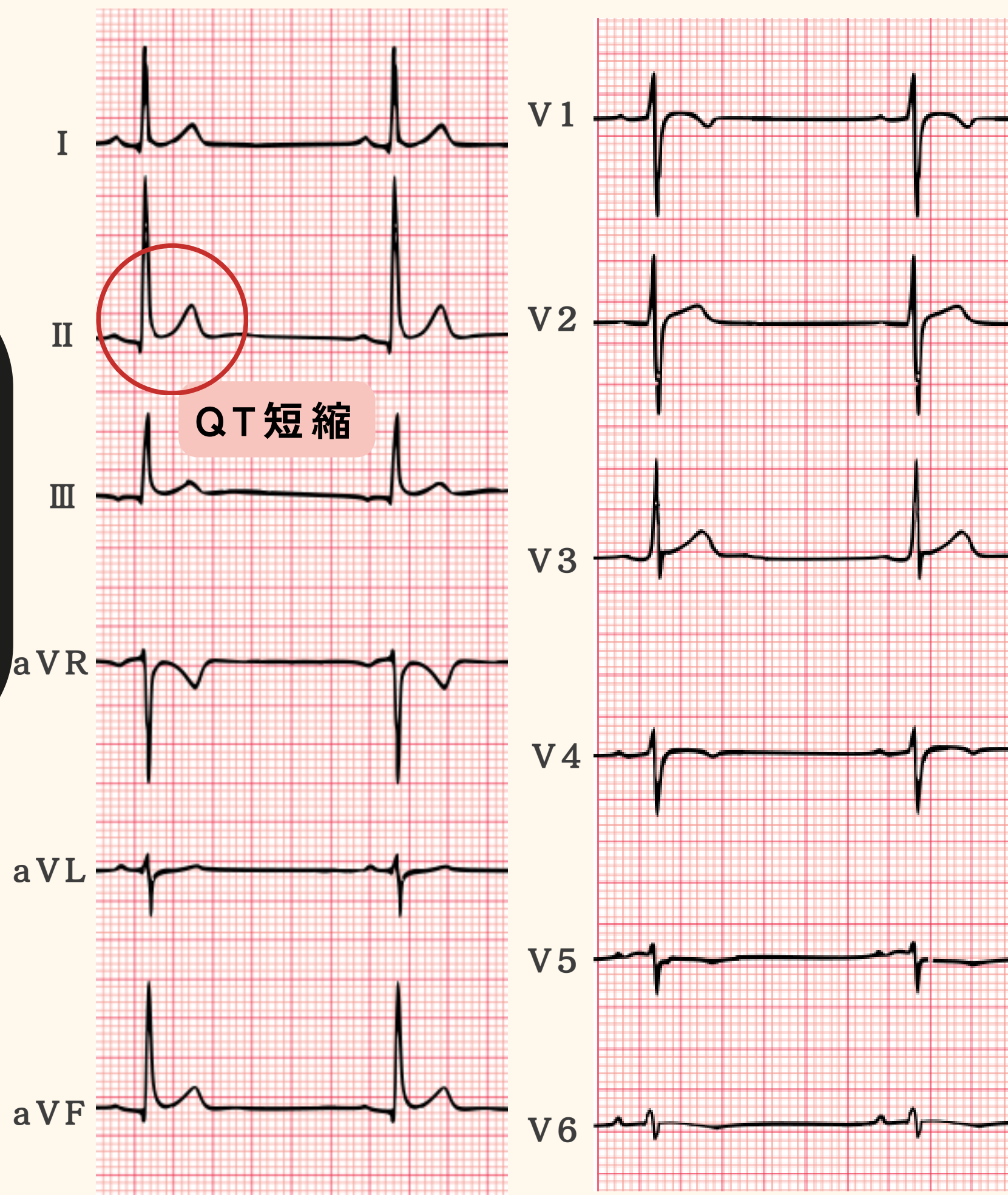
- I誘導、aVF誘導がともに上向き

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

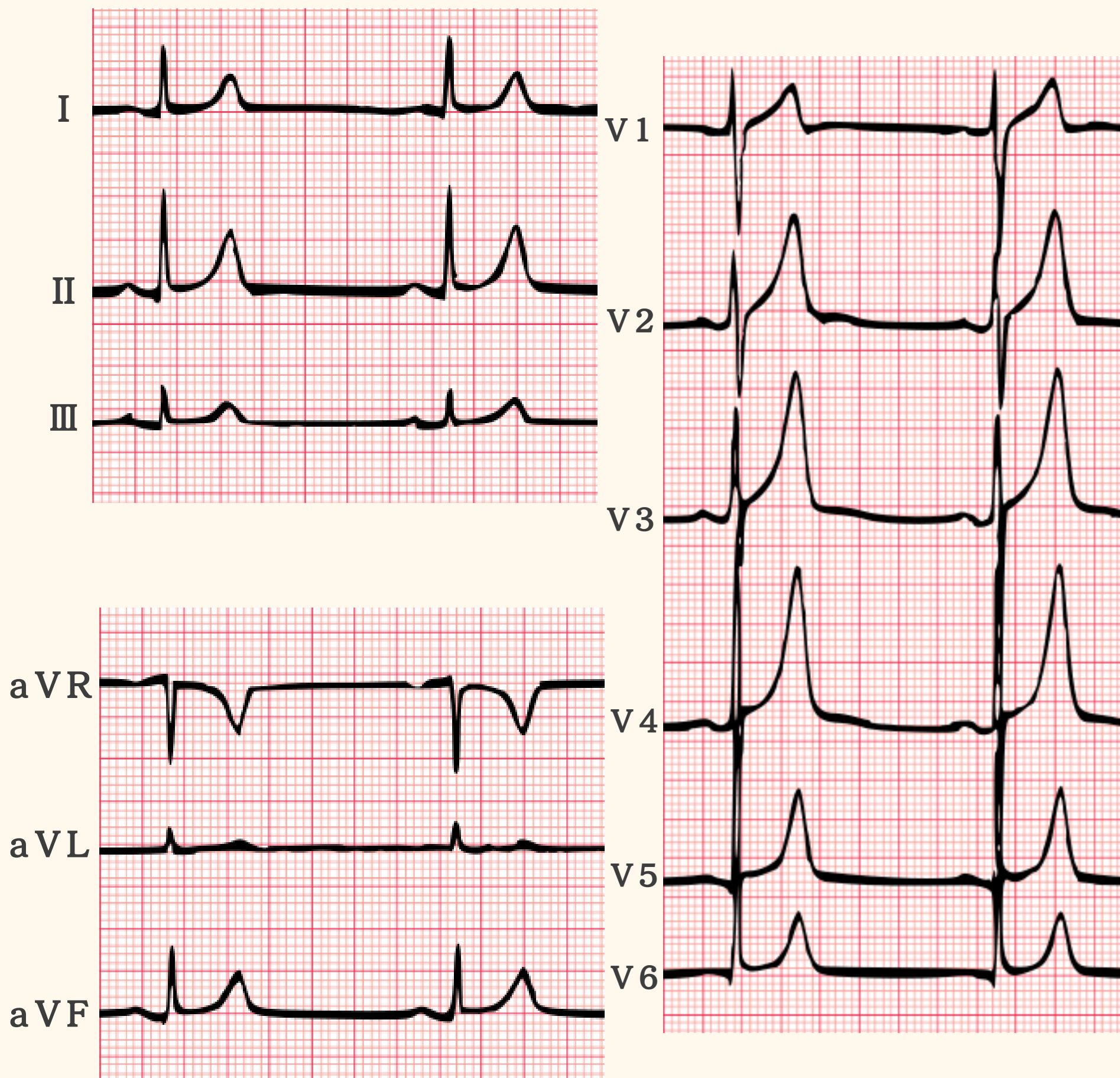
8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き
- RR間隔が3~5マス以内

2. P波の評価

- II誘導で高さが2.5mm以上ない
- II誘導で幅が3mm以上ない
- V1誘導で高さが2mm以上ない
- V1誘導のP波の陰性部分が横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- STの上昇(J点が1mm以上)がない
- STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- T波の終わりが、RR間隔中央の基準線を超えていない

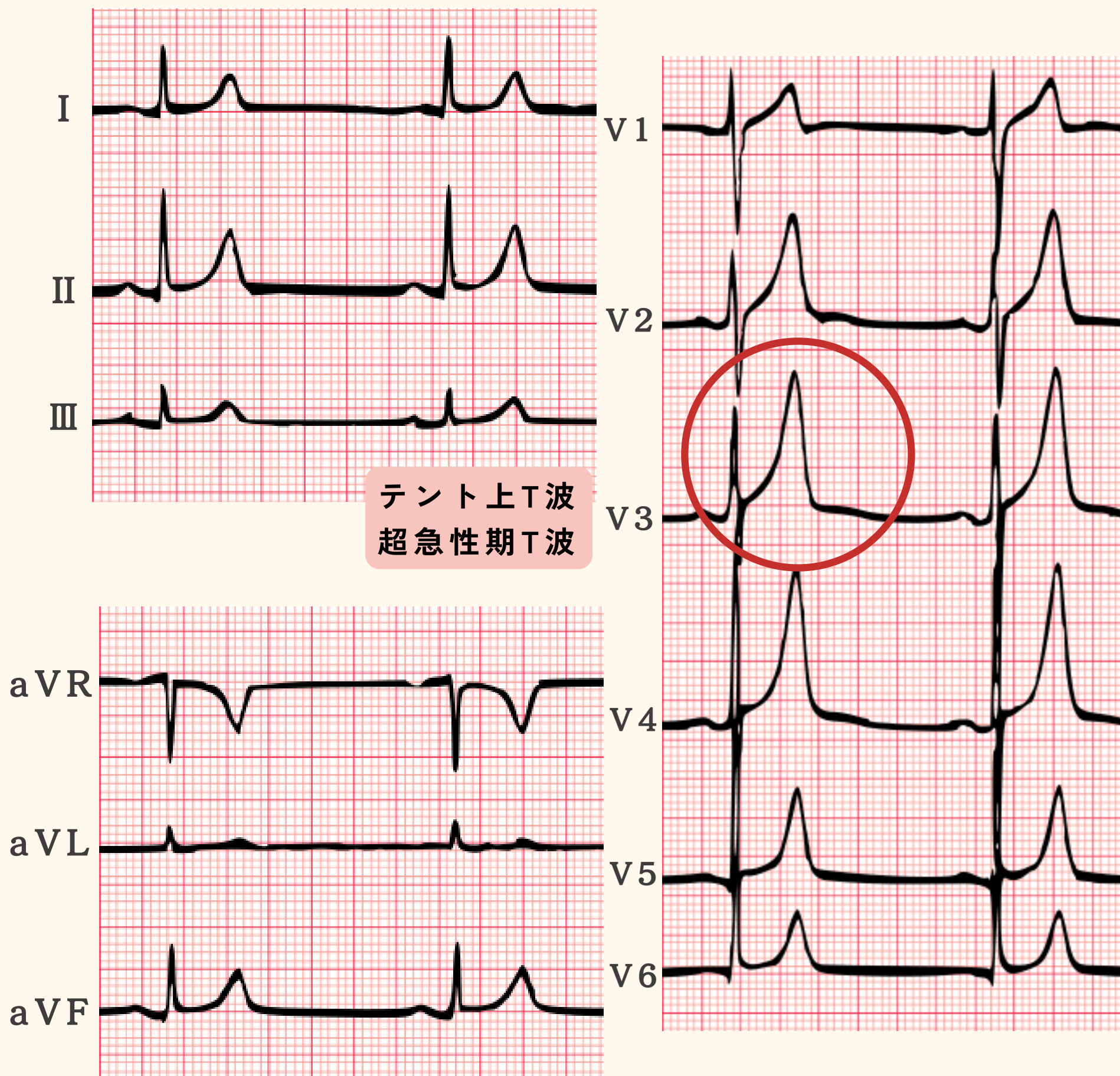
8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- P-QRS-Tの順番通り
- I誘導, II誘導のP波は上向き

5. QRS波の評価

- 形に異常がない
- 幅が3マス以上ない

テント上T波 超急性期T波

例

考えられる病態

高カリウム血症
心筋梗塞の超急性期

横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- PQ間隔が3~5マス以内

8. 軸の判定

- I誘導、aVF誘導がともに上向き

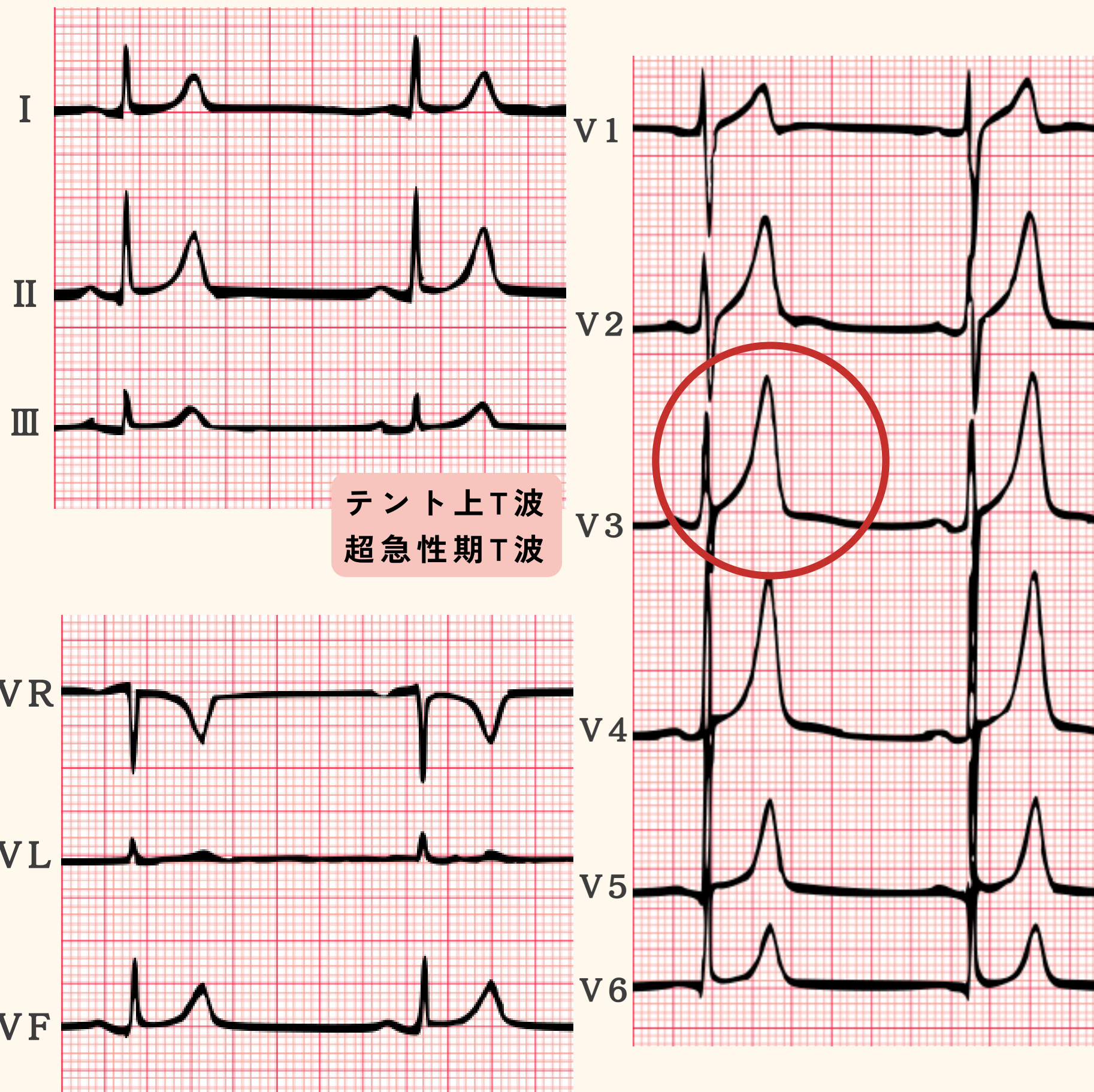
4. 異常Q波の確認

- 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

9. 移行帯の判定

- R波の高さとS波の深さが逆転したところが、V3~V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



心電図CAMP

おつかれさまでした。

